

善隣

No.486 通巻753

2017年（平成29年）12月1日発行（毎月1日発行）

2017
12



一般社団法人

国際善隣協会



9月26日、日田市役所にて（写真提供：日田市役所）



山東理工大学幹部來訪（9月26日）

善隣 目 次

2017年12月号

公開講演会記録

中国の国有企业の評価 —その諸説と実情（鉱工業部門について）	村上 裕	2
梁啓超と近現代の中国 —和製漢語の中国への輸入	李海	9
民謡・童謡詩人 野口雨情と秩父三峰	武内 優	16
中国ウォッチング	編・訳 上松玲子	20
中国共産党大会 満つれば欠くるは… “習一強” 体制のゆくえ	田畠光永	22

旅行記

中国内陸部「甘肃省植林地」と日中国交正常化45周年 「北京友好団体訪問」の旅	矢野一彌、澤村 宏、 渡邊澄子、塚原美津子、山路靖雄・山路スミ、村田嘉明	24
---	---	----

会員彼是

文化放送で古海建一前会長のヒストリーを紹介	28	
陶々俳壇	馬場由紀子選／長野宏太郎	29
コラム 〈腰折れ文〉 四、	渡邊澄子	30
常任委員会報告		31
協会通信・会員だより・同好会だより		32
みんなの写真館		32
2017年12月の行事予定		33

善隣 第486号 通巻753号

2017(平成29)年12月1日発行

発行所 〒105-0004 東京都港区新橋1-5-5
 一般社団法人 国際善隣協会
 TEL 03 (3573) 3051
 FAX 03 (3573) 1783
 発行人 矢野一彌
 印刷所 (有)ゆにおんプレス
 定価 一部400円 年額4,800円
 振替 00120-0-145956
 國際標準逐次刊行物 ISSN 0386-0345
 ©禁無断転載

◆原稿・写真など大募集◆ 30

「善隣中国塾」はじまる 31

中国の国有企業の評価

—その諸説と実情（鉱工業部門について）

首都大学東京非常勤講師 博士（経済学）村上 裕



はじめに

先日、中国の4～6月の実質GDP成長率は前年同期比6・9%と報道された。2000年以降の実質GDP成長率をみると、2000年代は前年比10%超、2008年のリーマンショック以後は、2010年以外は10%を下回り、昨年は6・7%となり今年の政府の目標は6・7%である。

このような状態について、河合正弘

「中国経済をどうみるか 上」（2017）、『日本経済新聞』2017年3月1日付】は

国有部門の投資は収益性が低い、と。厳

善平「不透明感を増す中国経済 中」（20

07）、『日本経済新聞』2017年2月24日付】も2008年以降、国有企业の総資

産利益率が企業全体の平均よりも低い、と指摘している。さらにリーマンショック以前には、関志雄『中国経済のジレンマ』（2005）、ちくま新書、141～147頁によれば、2004年当時の中国

の経済学会の主流派は国有のままでは企業の経営効率の改善は見込まれない、と主張している、と。このように、以前より一貫して、国有企業は非効率、投資に対する収益性または総資産利益率が低いと評価されている。

の企業形態」の通り、2つの方法でなされているからである。

1 中国の企業形態

（1）企業の種類とその概念

『中国統計年鑑』の鉱工業部門の企業別分類は、大きくは次の2種により区分されている。1つは企業登記に応じた組織形態の別による区分である。もう1つは企業の資本金の出資者＝所有者の性格の別による区分である。この区分の概要是表1の通りである。

表1の左表と右表とを、「国有企业」と「国有控股企业（国有株支配企業）」とに注目して比較してみる。「国有企业」

表1 組織形態別による区分と所有別による区分との比較・2015年鉱工業企業（対象企業は売上高2千万元以上）

(企業登記に応じた組織形態の別による区分)

[] 内は和訳	企業単位数	売上高 (100M IL元)	(売上高の構成比)
(社)			
総計（内資、外資の合計）	383,148	1,109,853	
（内資企業）	330,390	864,155	77.86%
国有企业	3,234	45,202	4.07%
集体企業【集団企業】	2,637	6,727	0.61%
股份合作企業【株式合作企業】	1,136	1,499	0.14%
職業企業【職業企業】	147	272	0.02%
有限責任公司【有限公司】	94,299	321,610	28.98%
国有独資公司	3,179	46,618	4.20%
其他有限責任公司	91,120	274,992	24.78%
股份有限公司【株式会社】	11,061	99,631	8.98%
私營企業	216,506	386,395	34.81%
其他企業	1,370	2,821	0.25%
（外資企業）	52,758	245,698	22.14%
（港、澳、台商投資企業）	24,488	96,926	8.73%
（外商投資企業）	28,270	148,772	13.40%

出所：『中国統計年鑑』2016年版、及び筆者が追記。

(所有【出資】の別による区分)

[] 内は和訳	企業単位数	売上高 (100M IL元)	(売上高の構成比)
(社)			
総計	383,148	1,109,853	
（内資企業）	330,390	864,155	77.86%
国有と国有控股企業	19,273	241,669	21.77%
（国有控股…複数者が所有する企業で、国が支配している企業）			
【国有及び国有株支配企業】			
私营企業	216,506	386,395	34.81%
その他	94,611	236,091	21.27%
（国有及び国有株支配企業、私营企業を除く内資企業）			
外商投資と港澳台商投資企業	52,758	245,698	22.14%

とは、その企業の資産の100%を国が所有する非公司制（非会社制）の企業であり、「国有株支配企業」とは、複数の出資者の中で国が筆頭所有者で、国がその企業をコントロールするという企業で

ある。左表の「国有企业」の売上高が2015年・鉱工業総売上高の全体に占める比率は4・07%である。右表の「国有及び国有株支配企業」が全体に占める比率は21・77%である。この両者の数値の差異の大半が「国有株支配企業」の売上高である。この「国有株支配企業」は、企業の組織形態と数値から見れば、そのほぼ100%が左表の有限责任公司（有限公司）の一部と股份有限公司（株式会社）の一部とに該当している。さらに外資企業のなかにも外資の出資比率よりも国有の出資比率が大きく実質的に国がコントロールする合弁企業が存在するので、そのような企業を加味すれば、国がコントロールする国有経済部門は21・77%を超過する。

したがって国有企业または国有経済部門を、表1の左表の組織形態別による区分の「国有企业」とするか、または右表の所有の別による区分の「国有及び国有株支配企業」とするかによって、国有企业または国有経済部門の大きさには大きな差異が生じる。このような2通りの異なる数値による実情把握の曖昧さ、不適切さを避けるために、国有企业の概念、定義はどのような基準によって定めるのが適切か、を検討する必要がある。

筆者が本稿で国有企业または国有経済部門はどちらの区分によるかは、次の通りである。

それは、企業を支配する者は誰か、に着目する。企業の実態は、企業の所有と支配の性格によって基本的に決まる。例えば企業の所有者が複数の場合に、経営の方針・計画は所有者間の契約や協議（例えは、株主総会での議決）に基づいて1つの意思に統一される。所有者間では、一般的には所有持分が優勢な所有者の意思が支配的な意思になる。したがって、国有資本100%の非会社制の国有企业のみならず国有株支配企業では、所有者である中国政府の意思が反映されて経営が実行される、または実行できる基盤がある。

したがって、筆者は国有企业（または国有経済部門、国有部門）を表1の左表の「国有企业」（以下、「狭義の国有企业」と称する）に留めず、表1の右表の「国有及び国有株支配企業」（以下、「国有企业」とも称する）とする。

なお、表1の右表の「その他」は、その主体は有限公司と株式会社から国有株支配企業を除いた企業であるから概ね私営、私有と言える。しかし、企業の株主の更にその親、その親の親と、トレースし

ていつて企業の分類をしているかどうかは未詳であり、私営、私有と言い切れるのか否かに疑念が有るので、本稿では「その他」のまま取り扱う。但し、「その他」はデータによると私営と国有株支配企業との中間的な様相を示している。

(2) 国有企業と私営企業の状況

2015年の企業規模は、国有及び国有株支配企業は私営企業に比して、1社当たり、並びに、従業員1人当たりの売上高、総資産額が大きい。『中国統計年鑑』のデータによると、その両者の比率は、1社当たりの売上高は7・0倍、総資産額は19・5倍、従業員1人当たりの売上高は1・22倍、総資産額は3・4倍である。なお、この倍率は以前よりは縮小してきている。

2 国有企業の実情把握—その1—

(1) 国有企業の分類に起因する規模の把握の誤認

2000年代の先行研究を見てみると、国有という範疇に「国有株支配企業を含めない」または「含めているのか含めていないのかが不明瞭」な事例が散見される。このような事例は、企業の所有と支配という視点からは適切な分類ではない、

または不明確な分類、と言わざるを得ない。このような事例は、市場経済の発展と、経済全体に占める大きさに関して非国有企业の伸長と公有または国有經濟の後退とを説明し、このことから非国有企业が中国経済発展にポジティブに作用しているという評価を下す論調において多く認められる。しかしながら、前述(1)「中国の企業形態」で示した通り、国有という範疇に「国有株支配企業」を含めれば、国有の規模は大きくなり、経済全体の中での国有の位置付け、役割、評価も当然に「国有株支配企業」を含めない場合とは異なる結果をもたらすだろう。

なお、2010年代に入ると、国有株支配企業を国有部門に含める事例が増えてくる。しかしながらこの事例であっても、「国有及び国有株支配企業」の内容、質に関しては資本効率を指標にして評価をしてネガティブな傾向を認める論調が見られる。この点については後述(3)「国有企业の実情把握—その2—」で取り上げる。

(2) 組織形態の別による企業分類にもとづく把握の事例

中兼和津次『シリーズ現代中国经济1 経済発展と体制移行』(2002)、名古屋大学出版会、156～157頁】は、『中国統

計年鑑』により企業区分別の工業総生産額と従業員との全体に占めるシェアの推移を示して、「個人企業や私営企業が次第に力を増し、ついには中国経済発展の主翼を担うまでに成長してきた(中略)国有企业の外部にある私有企業の成長によって、国民経済全体に占める国有部門の比重を下げたことに中国の民営化の特徴がある」と述べている。

この中兼の工業総生産額(『中国統計年鑑』では工業部門と鉱工業部門とは同じ)の2000年のデータとそれに対応する『中国統計年鑑』のデータを見てみると、中兼の区分(3つに区分)とそのシェアは「国有」..23・53%、「集団」..13・9%、「個体とその他の合計」..62・57%であり、これらは前述の表1の左欄の「国有企业」、「集団企業」、「国有企业」と集団企業を除くそれ以外の企業の合計の3つの区分であり、その2000年のシェアに合致する。表1の説明で示した通り、「国有企业と集団企業を除くそれ以外の企業の合計」の中には国有株支配企業が存在する。2000年の「国有及び国有株支配企業」の鉱工業総生産額の全体に占める割合は47・34%であり、中兼の「国有」..23・53%よりも大きい。また、全体から「国有及び国有株支配企

業」：47・34%と「集団企業」：13・90%とを除いた部分は38・76%となり、この部分は中兼の「個体とその他の合計」：62・57%よりも小さい。以上のことから、国有株支配企業を含めた国有部門は中兼の「国有」ほどには減少していないことが判り、中国経済発展の1主翼は個人企業や私営企業であるとは断定しがたいだろう。

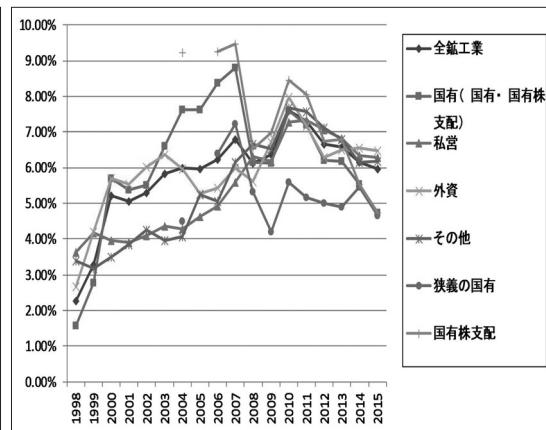
3 国有企業の実情把握—その2—

(1) 企業の財務分析に起因する経営状況の把握の誤認

中国・鉱工業部門の企業区別の売上高利益率とROA（総資産利益率）との推移は、図1、図2の通りである。

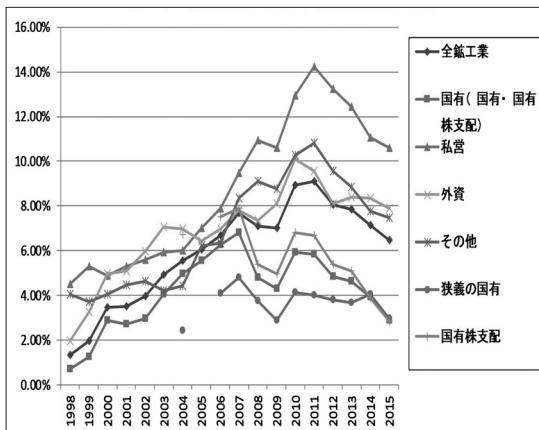
国有及び国有株支配企業のROAは、すべての年代で私営企業よりも低く、その売上高利益率は私営企業よりも高い、また、私営企業よりも低くなつてもその差はROAほどには大きくなつない。売上高利益率とROAとの関係を少々確認すると、それらの分母について、売上高は当該期において生産された製品の費用と利益の和であり、総資産の中の固定資産である機械設備は複数年に亘って償却されるので、総資産の中には当該期

図1企業区分別・売上高利益率(%)



出所：『中国統計年鑑』2013年版、2014年版、2016年版より筆者が計算作成

図2企業区分別・ROA(総資産利益率)(%)



出所：『中国統計年鑑』2013年版、2014年版、2016年版より筆者が計算作成

の生産に費やされず、利益を生み出すことに資さない部分が含まれている。このような違いを反映して、一般的には、省人化を図るなどのために、機械設備を導入すれば労働生産性が上昇して売上高利益率は上昇するが、一方、総資産が増加し、その増加の程度は利益の増加程度以上になる傾向があり、ROAは低下する傾向がある。このような一般的な傾向によつて、固定資産の大きい資本集約的産業（規模の大きい重工業）のほうが労働集約的産業（規模の小さい軽工業）よりもROAは低くなる傾向がある。したがつて、業種の違いを無視してROAのみで企業の質の優劣を評価すれば、それは資本の効率のみを評価する一面的な評価となり、正しい評価とは言い難い。

なお、このような傾向は、資本の有機的構成の高度化に伴う利潤率（ROA）の傾向的低下（機械設備の導入により労働生産性が上昇するのに伴い、人件費と機械設備の比率において人件費の割合が相対的に縮小し、機械設備の増加の程度が付加価値（また利益）の増加の程度よりも大きくなりROAが低下）と呼称される（後述、4（2）、（3）も参照）。なお、この傾向はあくまでも一般的な傾向であり必然ではない。例えば労働生産性を大

きく上昇させてROAも増加させる場合も有る。

察するのは妥当であろう。

(2) ROAにもとづく把握の事例

中国の鉱工業部門の業種別・企業規模別の状況を見てみると、国有及び国有株支配企業と私営企業の間では業種別に横み分けている状況が判る。『中国統計年鑑』のデータにより、国有及び国有株支配企業と私営企業とについて、「重工業・規模大」の業種と「軽工業・規模小」の業種とを比較すると（業種の選定は『中国統計年鑑』に表示の41業種の内より「重工業・規模大」、「軽工業・規模小」の業種を各々7、6業種選定して比較）、2015年売上高ベースは、重工業・規模大の業種ではその36%を国有及び国有株支配企業が、その28%を私営企業が占め、軽工業・規模小の業種ではその49%を私営企業が、その5%を国有及び国有株支配企業が占めており、国有及び国有株支配企業と私営企業の間では業種別に横み分けている状況が判る。なお、同じ業種規模は私営企業のそれに比較して非常に大きい。このような状況であるから、国有及び国有株支配企業には「重工業・規模大」の性格が、私営企業には「軽工業・規模小」の性格が、より強く反映され、図1、2で示した状態になつていると推

察するには妥当であろう。

丸川知雄『現代中国経済』（2013）、有斐閣アルマ、196、226頁）は、『中国統計年鑑』のデータに基づいて1981～2011年の間、国有企业は非国有企业よりも一貫して利潤率（ROA）が低い。国有企业が、経営効率が悪いのであれば国有企业に国家が発展させたい支柱産業やハイテク産業を任せると発展を鈍化させる、と述べている。この丸川による企业的経営効率の評価は、①ROAのみによる一面的な評価であり、②産業の業種別の違いを考慮せずにすべての業種を纏めてのROAによる評価、という二重の適切でない評価方法であると言わざるを得ず、丸川が下した企业的経営効率への評価結果の適切性には疑問が残る。

(2) 国有企業（＝国有及び国有株支配企業）の売上高利益率、ROAの低下の要因（推定）

2008年以降に現れた売上高利益率ならびにROAの低下、特にROAの低下は私営よりも国有企业が大きく、この要因を、特に2008年の前と後とに注视して『中国統計年鑑』のデータにより考察する。

1998～2015年の鉱工業・企業区分別（国有企业（＝国有及び国有株支配企業）、私営企業、外資系企業、その他、4区分）の状況を概観すると、2008年以前の姿は、売上高、利益額、

総資産額、従業員数（国有企业は減少）、売上高利益率、ROAが上昇して來ていた。しかし、リーマンショックを転機として2008年以降は、売上高も総資産も上昇しているにも拘らず（売上高は、私営企業以外は、2015年は低下または横ばい）、利益額が上昇傾向から横ばい傾向さらには低下傾向に変化し、（政府のリーマンショック対策の4兆元の投資効果による2010、2011年頃の上昇以外は）売上高利益率やROAが低下している（図1、2を参照）。従業員数は横ばい傾向（私営企業は緩やかな上昇）となっている。

4 統計データにもとづく現在の国有企业

(1) リーマンショックを転機としての変化

前述の（1）で示した2008年以降の売上高、利益額、総資産額、従業員数の状況をみれば、国有企业、外資系企業、その他企業は生産設備を増加させながら、従業員の増加を抑えて、生産量を増加さ

せているので労働生産性が上昇している、但し、その増加速度は鈍ってきていると推定される。すなわち、資本の有機的構成が高度化し、その結果、ROAの傾向的低下の現象が現れないと推定される。私営企業は生産設備も従業員数も増加させながら生産量を増加させているので、労働生産性の上昇は低く、ROAの減少は小さいと推定される。いずれの企業も売上高利益率が低下するが、その要因の1つには生産設備増加に伴う減価償却コストの増加が推定される。

(3) 中国企業は高度成長期の日本企業と異なる

中国・鉱工業部門の重工業、軽工業の幾つかの業種の個々の株式上場企業を取り上げて、労働生産性と資本の効率について2007年以前と2008年以降とではどのような変化が起きているのかを、国有株支配企業と実質私営株式会社(前述、1(1)で示した筆者の本稿での企業区分の「その他」に含まれる株式会社で、その実質的支配株主が私人)との比較、並びに日本の高度成長期の同業種の個別企業との比較を通じて、労働生産性は従業員1人当たり営業利益により、資本の効率はROAにより考察する(これらのデータは公表されている有価証券報

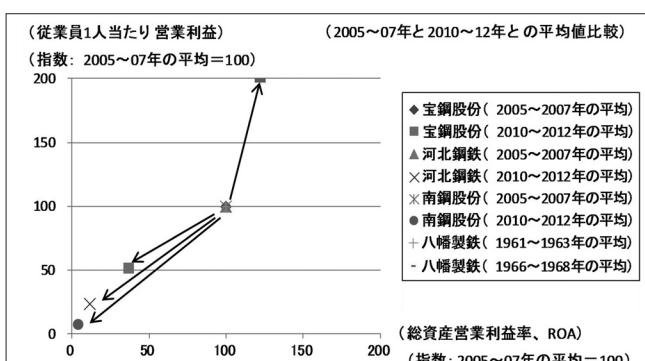
告書またはAnnual Reportの財務諸表に依るので株式上場企業を対象にする)。

日本企業については、これらのデータの1961～63年(前期と称する)の平均値と、1966～68年(後期と称する)の平均値とを比較する。同様に中国企業については、2005～07年(前期と称する)の平均値と、2010～12年(後期と称する)の平均値とを比較する。なお、日本の当該期は1964年に東京オリンピック、1970年に大阪万博が開催された時期であり、中国では2008年に北京オリンピック、2010年に上海万博が開催された時期である。

本稿では幾つかの業種の企業の中から、鉄鋼業、食品加工などの軽工業の事例を以下に示す。鉄鋼業について、中国企業は国有株支配企業(以下、国有と称する)の「宝山鋼鐵股份有限公司(略称..宝鋼股份)」、「河北鋼鐵股份有限公司(略称..河北鋼鐵)」、実質私営株式会社(以下、実質私営と称する)の「南京鋼鐵股份有限公司(略称..南鋼股份)」、日本企業は「八幡製鉄株式会社(略称..八幡)」を取り上げる(中国語の股份有限公司の和訳は株式会社)。各社の状況は図3の通り。

八幡は、前期と後期を比較すると売上高、営業利益、総資産(内、固定資産も)は上昇し、人員はほぼ横ばいであり、その結果、1人当たり営業利益は1.98倍、ROAは1.19倍、売上高営業利益率は1.06倍に上昇している。すなわち、機械設備の導入により労働生産性を上昇させて、且つ、その労働生産性の上昇の程度が大きいために、(人員と資産の状況からみれば)資本の有機的構成は高度化しているが、ROAは低下していない。中国の3社は国有も実質私営も八幡とは逆の傾向を示している。売上高は上昇

図3 鉄鋼業／労働生産性と資本効率の変動



(注)日本の企業は1961～1963年と1966年～1968年の平均値比較、指標：1961～1963年の平均=100とする。

出所：中国の3社は各社のWeb Site、金融証券情報サイト『証券之星』Web Site、および、『八幡製鉄株式会社・有価証券報告書』各決算期版、より筆者が計算作成。

するも営業利益は大きく低下しており、総資産（内、固定資産も）は上昇し、人員は宝鋼股份が横ばい、他の2社は増加（増加程度は資産のそれよりも小さい）し、その結果、1人当たり営業利益、ROA、売上高営業利益率とも大幅に低下している。すなわち、（人員と資産の状況からみれば）資本の有機的構成の高度化が進展するも、機械設備の導入はその効果を発揮せずに労働生産性を低下させて、ROAを低下させている。以上の通り、これら3社は国有、実質私営の別に関わりなく同様の傾向である。

軽工業の事例は、中国企業は国有の「光明乳业股份有限公司（略称…光明乳业）」、実質私営の「金發科技股份有限公司（略称…金發科技、プラスチック製品製造業）」、日本企業は「鐘淵紡績株式会社（略称…鐘紡）」を取り上げる（労働生産性と資本効率の変動の図は省略）。

鐘紡は、前期と後期を比較すると売上高、営業利益、総資産（内、固定資産も）は上昇し、人員はほぼ横ばいであり、その結果、1人当たり営業利益は1・25倍以上昇し、ROAは78・2%、売上高営業利益率は81・6%に低下している。すなわち、機械設備の導入により労働生産性を上昇させている模様であり、（人員と資産の状況からみれば）資本の有機的構成は高度化し、この事がROA低下の要因の1つであると推定される。

中国の2社は国有も実質私営も鐘紡と同様の傾向を、且つ同程度の変化を示し、1人当たり営業利益は上昇するも、ROA、売上高営業利益率とも若干低下している。（人員と資産の状況からみれば）資本の有機的構成の高度化が進展し、この事がROAの低下の要因の1つであると推定される。以上の通り、これら2社は国有、実質私営の別に関わりなく同様の傾向である。

株式上場企業の中の幾つかの業種（上記の2業種以外にも機械、自動車、紡織業など）に限って比較分析した結果、「幾つかの業種の分析とその結果の詳細は、拙著『中国・社会主義市場経済と国有企业の研究』」八朔社、2017年、第5章第3節を参照請う」、中国企業の中では国有と実質私営という所有に基づく性格の違いによる差異は見られず、重工業と軽工業との違いがROAの推移に明瞭に表れている。日本企業と中国企業との間では、軽工業では大きな違いは見られないが、重工業では日本企業が、労働生産性で中国企業よりも大きく上昇し、資本の効率でROAの低下があつて

もその程度は中国企業よりも小さい。

まとめ

以上の考察の結果、一般的に言われている「国有企业は非効率」との評価は、おもにROAによる評価であり、それは、一面的評価であり、更に国有だからROAが低いのではなく、国有部門では重工業・規模大の企業が多いことから、重工业・規模大の性質（ROAが低い）が、より濃く現れている、と推察することは外れではないだろう。

（2017年7月20日・公開フォーラム）

筆者略歴（むらかみ ひろし）

1950年福島県福島市生まれ。19

73年福島大学経済学部卒業、同年（株）小松製作所入社（2010年6月定年退職）、2010年4月首都大学東京大学院社会科学研究科入学、2016年3月同大学院博士後期課程修了、博士（経済学）。現在、首都大学東京非常勤講師。

著書『中国・社会主義市場経済と国有企业の研究－鉱工業部門についての考察－』八朔社、2017年。

公開講演会記録

梁啓超と近現代の中国

—和製漢語の中国への輸入

香港衛星テレビ東京支局長

李海



1. なぜ梁啓超に注目したか？

多くの日本人にとって、近現代の中国人の中でもよく知られた人物を挙げるなら、孫文、蒋介石、毛沢東、周恩来、魯迅くらいだろう。梁啓超はなじみが薄いかもしれないが、中国の人々にとってはピッケルームである。特に中国近代史、現代史を研究する者にとっては、避けては通れない人物である。梁啓超は中国の教科書にも出てくる有名人なので、ほとんどの中人が名前を知っていると言つても過言ではない。元々、大学で法律を勉強していた筆者も、直ちに梁啓超に注目したわけではない。日本の法律用語の多くは漢字で書かれ、難解である。中国語と対照して理解しようと思ったところ、何

と、中国語でも全く同じ言葉が使われていた。例えば、国際私法に「反致」という言葉があり、漢字を見てもなかなか理解できない。そのまま中国語にもなって

2、梁啓超はどのようにして、和製漢語を中国に広めたのか？

梁啓超と和製漢語の関係を語る前に、中国語における和製漢語の立ち位置について考えてみたい。われわれが日常的に使用している基本的な術語の多くは日本で作られたものである。例えば、組織、規律、政治、革命、理論、原則、哲学、経済、科学、幹部、社会主義、資本、法律、封建、共和、文学、抽象など、人文・社会科学方面的術語の70%は日本由来と指摘する学者もいる。これは中国で話題になり、多くの中国人にとっては初耳で、衝撃を受けた人も少なくなかつた。今日、和製漢語は中国人が気付かないほど中國

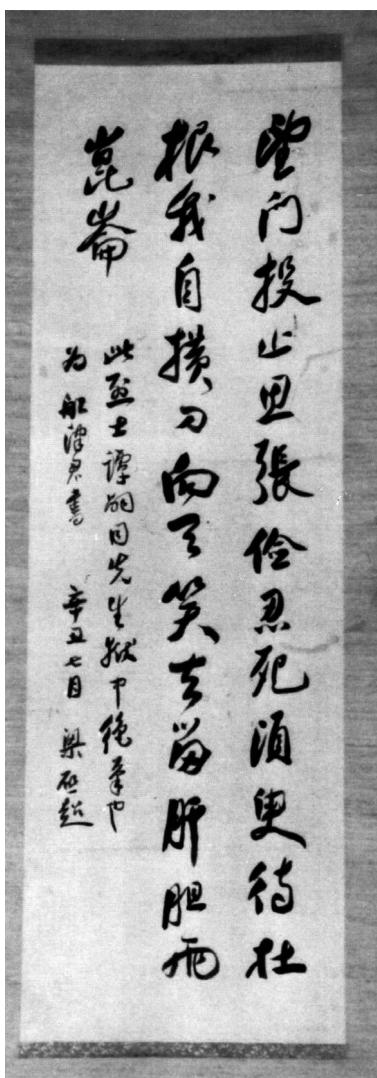
梁啓超であるという結論に至った。

での地位を固めたのである。そこで、ここでは、和製漢語の導入に関して、その役目を果たしたのがなぜ梁啓超だったかを考えてみたい。



日本に亡命する前の辯髪姿の
梁啓超（1873～1929）

▲梁啓超が東亞商業学校の日本語教師船津輸助氏に贈った書道作品



教師の中には早稲田大学三代目総長の天野為之もいたし、一橋大学の総長も務めた同じく経済学者の松崎蔵之助は、梁啓超が創設した中国人留学生教育機関で教えた。これらのことことが梁啓超の日本での亡命生活に大きな支えとなつたわけである。

梁啓超は、日本に亡命する前からすでに、日本が西洋経由で知識を吸収していく点に注目し、中国への西洋文化の導入に目覚めた。その当時、中国でも西洋の科学技術、社会科学に注目した人がいなかつたわけではない。中国は日本より早い段階で西洋の科学技術、人文知識に目を向けていた。例えば、魏源の『海国圖志』は日本でも重宝され、日本の歴史的進路にも大きく影響した。魏源は『海国圖志』

は伊藤博文の助けで日本への亡命を余儀なくされ、再起を図った。日本に渡った梁は、新たな天地を得た。それは日本の開かれた言論・学問で、これを中国に伝え、下から上への啓蒙活動に力を注いだ。日本に来て、日本人の協力を得て東亜商業学校を作り、中国の未来の指導者を育てたわけである。その学校には日本の錚々たる面々がいて、例えば、学長は犬養毅、

梁啓超は、日本に亡命する前からすでに、日本が西洋経由で知識を吸収していく点に注目し、中国への西洋文化の導入に目覚めた。その当時、中国でも西洋の科学技術、社会科学に注目した人がいなかつたわけではない。中国は日本より早い段階で西洋の科学技術、人文知識に目を向けていた。例えば、魏源の『海国圖志』は日本でも重宝され、日本の歴史的進路にも大きく影響した。魏源は『海国圖志』

は伊藤博文の助けで日本への亡命を余儀なくされ、再起を図った。日本に渡った梁は、新たな天地を得た。それは日本の開かれた言論・学問で、これを中国に伝え、下から上への啓蒙活動に力を注いだ。日本に来て、日本人の協力を得て東亜商業学校を作り、中国の未来の指導者を育てたわけである。その学校には日本の錚々たる面々がいて、例えば、学長は犬養毅、

みよ。philosophy（哲学）を「智學」、economy（経済）を「計學」、society（社会）を「群學」と翻訳した。厳復の見解では、日本人は economy を「經濟」と訳し、中国人は「理財」と訳したが、「經濟」の意味する範囲は広すぎ、「理財」は狭すぎるため、「計學」と訳したのである。今日の中国でも「理財商品」などと言葉で「理財」は普通に使われている。日本人が訳した「經濟」は今日の中国でも普通に使われているが、「計學」は死語になってしまった。

次は「天演」と「進化」（evolution）。 「進化」と言えば常に他の種より高級で、さらに良い方向へ変わっていく変化のことと思いつかだが、進化はますます複雑になっていて、「進化」の反対語は「退化」だと理解しても不思議ではない。しかし、現代の生物学者は「進化」には方向性がなく、計画も目標もないと考える。進化の過程の中には複雑な現象があるものの、あまり変化しないものもあり、すべて天の選択と言つていい、と厳復はその時代にすでに考えていた。実際、今日、この「進化」の言葉は様々な誤解を生じてきたわけである。厳復の訳の「天演」は人為的な方向性などの意味合いがなく、

イデオロギー的なものでもなかった。「天演」は死語になつたが、その学問への真摯な姿勢は評価できるだろう。言葉には魔力があり、「進化」の大義名分で侵略戦争にまで踏み入った。このような教訓も銘記すべきではないだろうか。今でも、日本には似たようなイデオロギーを感じる言葉使いがあり、外国人の視点から指摘しておきたい。「国際開発」「アジア開発銀行」とは、日本が先進国として後進国を指導する立場であり、少なくとも言葉の意味の上では、支援を受ける国としてはいい気持ちはしないだろう。この現象は梁啓超の時代からすでに見られ、当時、日本の関係者は盛んに「保全支那」を言つていて、やはり上から目線であるから、中国知識人の反発を受けやすい。

他に、「形而上学」は厳復の訳では「玄學」「資本」は「母財」となつてゐる。これらは残念ながらあまり使われず、死語になつていった。厳復の訳はひとつも残されていないのか？ そうでもなかつた。例えば、logic は「邏輯」と訳され、今も使用されている。彼の翻訳の信念は「信・達・雅」だった。「信」は意味として信頼されること、忠実さ。「達」は原文の言わんとするところを完全に伝達す

ること。「雅」は原文の格調をも訳文に備えることである。発音、意味、格調の全てを兼ね備えるのは至難の業で、それが実現できれば間違いなく後世に残る。ちなみに、日本語ではこれにカタカナの「ロジック」と漢字語の「論理」を当てている。他に、厳復はUTOPIA（ユートピア、理想郷）を「烏托邦」と訳した。この訳の素晴らしいところは CLUB の訳である。漢字では「俱樂部」とも表記されるが、一緒に居て楽しいところの意味であり、完璧と言つていいだろう。似ているものでは、中国語では COCACOLA が「可口可樂」と訳され、これも優れた翻訳例である。

が、中国でも意味が通じるようになり、中国語としても定着していったりする。例えば、宅男、宅女、孤独死、暴走族など。逆に中国語からも日本に定着した例がある。それは、日本でも話題になつてゐる、おなじみの「特区」の言葉で、これは中国での造語である。

厳復の翻訳の話に戻ると、厳復は当時にしか及ばず、世に広く知られるようになるには、新聞雑誌の力が必須である。当時は新聞・雑誌が最も影響力を持つ最先端メディアだった。似た現象では、3年前、フランスの経済学者ピケティの話題の著書『21世紀の資本』が日本でも発売された。日本語訳は728ページにも及ぶ煉瓦のような厚さの本である。この影響力もやはり学者の世界に留まると予想される。

梁啓超は小説の力を借り、小説を用いて、民を啓蒙した。この「小説」という単語も日本で新たな意味を賦与された言葉である。戊戌変法の失敗後、梁啓超は

伊藤博文の助けを得て、日本に亡命した。

日本の軍艦・大島号の艦上で、艦長から

日本の作家、柴四郎の『佳人之奇遇』を

受け取り、興味津々に読んだという。

『佳人之奇遇』は日本の小説ではあるも

の、章回体で書かれ、漢詩がそのまま

掲載されており、しかも漢字・漢語を多

用し、梁啓超にとっては読みやすいもの

だった。梁啓超が日本語の訓読みのル

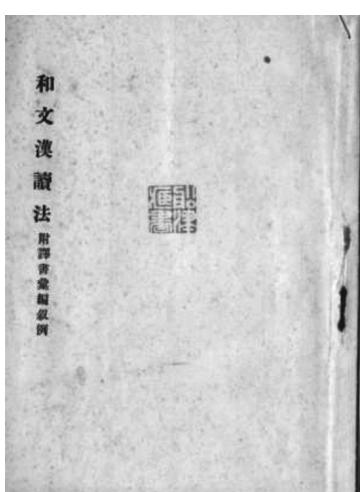
ルをまとめた著書は、日本語の入門書と

して重宝された。

その後、日本に到着して横浜の中華街に定住し、新聞雑誌を発行した。その中で、『清議報』に『佳人之奇遇』の中国語版を掲載した。『清議報』の創刊号には「譯印政治小説序」を発表した。小説の地位も梁啓超によって高められたと言つていい。ご存じのように、中国の四大名著『紅楼夢』『三国演義』『西遊記』『水滸傳』の著者は、いずれも、科挙試験に失敗してから失意のうちに小説を書くようになったわけで、小説は明清時代までは地位が低く、正統な文人には無視され

ていた。梁啓超は日本に来てから、小説に啓蒙の役割があるのを発見したが、その一番有名な例が『佳人之奇遇』だった。

それからすぐ、「譯印政治小説序」と「論



希覗書である『和文漢讀法』

は滅多にいない。梁啓超の言う通り、中国人の心性に害毒となつた面も確かに中國の古典小説にある。『三国演義』では英雄論を語り、みんなが英雄になりたがるが、現実には中国人の企業家が日本よりも悪いくことではなく、地道・平凡は中國では評価されなかつた。『紅樓夢』の人間関係もあまりにも複雑で、日本では他の三つの小説より人気は一段と落ちるが、その原因も『紅樓夢』で語られる中國式の人間関係の複雑さに起因している。

『西遊記』では幻想的な世界に夢を託し、現実世界からの逃避の側面は否定できない。『水滸傳』も盜賊を英雄に仕立て上げ、殺氣溢れる小説である。和解的な社会にはふさわしくない。ゆえに、中国では若い頃は『水滸傳』を読まず、年老いたら『三国演義』は読まない、ということがわざさえあつた。おそらく、若者は血氣盛んで、『水滸傳』を読んだら、非行に走る可能性が大であり、老人はすでに人間社会での経験が豊かで、その上さらには『三国演義』を読んだら、老齢になり、人に嫌われるだらう。

1902年、梁啓超は『新小説』創刊号の「論小説與群治之關係」の冒頭でこ

う述べた。「一国の国民を一新するには、まずこの国的小説の革新が必要である。

だから道徳を革新しようとするとには小説の革新が、宗教を革新しようとするには小説の革新が、政治を革新しようとするには小説の革新が、風俗を革新しようとするには小説の革新が、学芸を革新しようとするには小説の革新が、必要である。

そして人心を革新しようとするにも、小説の革新が必要である。小説的地位をこれまでにない高さにまで持ち上げたのである。彼は日本の政治小説『佳人之奇遇』『経國美談』を中国語に訳し、自分が主筆を務める『清議報』に掲載した。小説を通じて、民主、政治、経済、自由、法律、美学を全て中国の読者に伝えた。梁が重要な役割を果たしたのはもちろんだが、梁だけでなく、多くの留学生が日本教材を中国語に訳し、社会問題になつた。

3、梁啓超の影響力と和製漢語の伝播

梁啓超の影響力はどれほど大きいのか？こんな評価がある。中国近代史の人物で梁啓超の影響を受けなかつた人はいない。例えば、毛沢東はかつて、こんなベンネームがあつた。「学任」、つまり、「任公に学

ぶ」のことと、任公は梁啓超の字である。

周作人は中国における日本文学の権威的な存在である。日記に次のように記し、梁啓超の著作に魅了されていたことが見てとれる。「夜、同窓黄君明から六月出版した『新民叢報』第十一号を借り、これを読んだ。中には、良い本が甚だ多い、すべて飲水子（梁啓超のこと）が著したものである。夜中まで読み、就寝に忍びない。いいぞ、いいぞ。私は仰ぎ慕わせる。（1902年7月3日記す）」「午前『飲水室詩話尺牘』を写し、『新羅馬伝奇』『新民説』などを摘録する。（1902年7月4日記す）」「夜、『自由書』一冊を借り、読んで、立派なもの枚挙にいとまない。四更（午前1時から3時ごろ）まで、半分を読んだ：（1902年7月4日記す）」。李景彬『周作人評析』陝西人民出版社、1986年、pp. 21-22。

梁啓超の絶大な影響力の下で和製漢語の中国での普及は加速されたが、そもそも和製漢語は完璧なのか？ 答えは否である。いくつかの問題点がある。まず、和製漢語はいくつかのカテゴリーに分類でき、一様に日本人が作ったと断定するの

は間違いである。それが日本人による新規の創作であるかを区別する必要がある。和製漢語は以下の3種類に分類できる。

1、中国が直接西洋から学んだもの。

実は中国の西洋文化への接触は日本よりも早く、7世紀にはキリスト教の聖職者が中国で布教しているし、13世紀のマルコポーロ、16世紀のマテオリッチと、中國の学者が翻訳した西洋書が日本にも紹介され、そのうちの術語、例えば、数学、理論、銀行、保険、批評、電気はこのカテゴリーである。これは和製漢語には含まない。つまり、西洋の概念を漢語で表現する上で、どれを日本人が作り、どれを中国人が作ったか、その源流を探ることが学者にとっては地道な仕事になる。

2、漢字語彙の元来の意味に新たな意味を付したもの。

これが一番多い。例えば、革命、芸術、文明、文学、封建、階級、国家、民主、自由、経済、社会など。日本人は漢語の元々の意味を加工した。その加工の手法はいくつかあるが、まず意味を抽象化し、その次に拡大もしくは縮小する。例えば、拡大の例は「階級」という単語。これは、元々の漢語では、官位の俸給の高さ・低

さを意味していた。日本の学者は「階級」を西洋語 "Class" の対応語として翻訳に使用し、その際、元來の意味を抽象化し、拡大したのである。縮小の例では、例えば「文学」が挙げられる。元々の意味は非常に広く、文字形態の書籍文献は全て「文学」と呼ばれ、漢・唐の時代には、「文学」は官職の名称にもなっている。日本の学者は "Literature" を翻訳する際に「文学」を用い、元來の意味を縮小したのである。

3、日本人が新たに作った単語。

例えば、個人、民族、宗教、科学、哲学、美学など。上の2のように、中国の古典から借りてすぐ使えるのは便利だが、その弱点として、元來の意味と混同しないかどうかの問題がある。例えば、中国人の「革命」へのイメージはもともと政権を倒すことを指しており、非常に重たい言葉だが、日本では何にでも「革命」を用いたがる。その背景には、おそらく日本人の歴史の中では、中国の歴史のような革命を経験してこなかったからだと思われる。洗濯革命、掃除革命のように、日本人は「革命」の語に対しても甘い感じがする。たぶん「革新」と言ったほうが良い。

現代はどうだろう。総じて和製漢語の勢いはない。時代が要請する新しい概念や単語はあまりにも多く、外来語を借りる場合に、新しく作り出すのも手間がかかるため、全部カタカナにしている。昔、明治時代には、現代と比べ、カタカナ語の比率はますます増えるに違いない。例えば、外国人にとっては、同じことをカタカナ語で表し、ややこしくなる場合もある。空間をスペース、科学をサイエンス、経済をエコノミーなど。

4、梁啓超と現代中国

最後に、梁啓超の現代中国における意義について検討したい。彼は予言者でもあって、百年後、人々は必ず自分のことを思い出すだろうと言っている。彼が百年前に政治小説『新中国未来記』の中で予言した万国博覧会は、1962年に上海で開催される形で的中した。確かに、百年後の今日、私たちには梁啓超と深く関わっており、中国の今日の政治経済のキーワードも彼が関係している。例えば、「中華民族」という言葉は梁啓超が発明したのである。これは、1902年、梁啓超が『論中国学術思想変遷之大勢』と

「うきよの」の歴史

その中で、歴史の軸に重点を置きながら、中国の民族の多元性を分析し、「中華民族は最初から一族ではなく、実に多民族から混合してできたのである」との結論を下した。中華民族の概念を打ち出すとすぐに社会に大きな反響を呼んだ。日本人の中国人留学生らが作った新聞雑誌、列

えび『浙江潮』『民報』『國民報』『江蘇』などにおいて、民族主義や中華民族の概念・意味について討論が行われた。この

中華民族概念は、近代中国の民族主義の形成と国家建設の動きの中で、中国人を団結させる効果を發揮していた。国歌「義勇軍進行曲」の歌詞にも描かれていたように、中華民族が最も危険に瀕した時代に、梁は中華民族という単語を発明したが、実は「華夏民族」という同義の言葉も発明していた。その後、梁自身が中華民族の語を多用したことや、楊度、章炳麟などの有名人も頻繁に使用したところから、中華民族の概念が固定化された。今日に至って、習近平総書記は中華民族の偉大なる復興を目指している。

1904年、梁啓超は「祖国大航海家鄭和伝」という文章の中でこう語った。「コロンブスのあとには、無数のコロンブスがあり、ダガマのあとには、無数のダガマがあり、しかし、わが鄭和のあとには、鄭和がいない」。これはまさしく、ジャーナリストの先見の明と言ってよからう。また、問題点も鋭く指摘していた。

「一带一路」は中国の知識人による中華民族の偉大なる復興の戦略的なビジョンである。改革開放と同じように、これは中国の発展途上で重要な選択であり、

祖国の歴史の栄光を再び遡ろうという夢を人々に与えたのである。歴史上の西漢は国力は強盛であり、外交は内政の延長であり、弱い国には外交なし、で、安定して強くなれば外交ができる、とされていた。

筆者略歴（リハイ）

その選択を歴史の視点で見ても、中国の知識人が百年前にすでに考えていたのであって、この視点からの「一带一路」の理解も可能である。梁啓超が近現代の中国史に果たした役割の大きさを日本の皆さんに披露し、その一端である和製漢語の中国への導入の事実を紹介できたならば幸いに思う次第である。

1982年中國四川省生まれ。香港衛星テレビ東京支局長、名古屋大学文学博士。一般財団法人アジア・ユーラシア総合研究所運営委員、一般社団法人安保政策研究会研究員、客観日本コラムニスト。日本の出来事を中国に報道するかたわら、教育・文化に关心を持つ。

著書に『日本亡命期の梁啓超』（桜美林大学北東アジア総合研究所、2014年）、訳書に『日本如何面對歴史』（人民出版社、2014年）、監訳に『融冰之旅——日本原政要北大演講録』（人民出版社、2015年）、『王蒙先生「論語」を語る（抄訳版）天下仁に帰す』（アジア・ユーラシア総合研究所、2017年）などがある。

民謡・童謡詩人

野口雨情と秩父三峰

武内 優（会員）



はじめに

東京都・山梨県・群馬県に隣接し、面積では埼玉県の四分の一を占める秩父路は四季折々の自然環境に恵まれ、秩父夜祭りをはじめ年間三百余の祭り、各種民俗行事、伝承文化に恵まれ、三峯神社・秩父神社・宝登山神社三社および、秩父札所、七草寺、七福神、十三仏などの信仰の里です。そして、和銅遺跡や秩父事件に代表される歴史の世界。加えて吉田、大滝地区を中心広く分布する日本武尊伝説、平将門伝説、畠山重忠伝説など伝説の宝庫です。

その峠の国、山峡の里秩父路は、古くから多くの文人が訪れております。大正年間以降詩人だけ取り上げてみても斎藤茂吉・土屋文明・前田夕暮・宮澤賢治・若山牧水など豪華な顔ぶれで、そのほと

んど多くの人たちが三峯神社にも足跡を印しているのです。

その中斎藤茂吉は大正十五年の夏、アラギ派の歌人、八十三人を三峯神社に呼び寄せ六泊の山ごもりの研鑽会を行なっております。前田夕暮は年老いた身で夫人共々大滝の入川渓谷の行き止まりの山里に住み、都会とは異なり不自由な生活を心配した家族に連れ戻されます。主

の居ない裸電球の照明の粗末な建物の近くには、現地で詠んだ夕暮の作品の歌碑が立っています。宮澤賢治は三峯神社に宿泊し、訪問先の各地で多くの作品を詠み、その一部は小鹿野町に四か所、長瀞町に二か所、歌碑が建立されており、また若山牧水は三度秩父路を訪れ、その中一度は信州・甲州を経て徒步で山越えし三峯神社を訪れるという、車社会の現代人は想像もできない健脚ぶりで、宮澤賢治同様、訪問先の各地で多くの作品を

詠み残し、長瀞町に一か所、そして秩父市羊山公園の牧水の滝には喜志子夫人との比翼の歌碑が訪れる人を迎えております。ちなみに現在、卒業式の定番として全国で広く歌われている「旅立ちの日に」は、若山牧水研究家で秩父市立影森中学校に在籍していた小島登校長と、うら若い女性の音楽教師・高橋浩美先生との共同作品なのです。

なぜかあまり知られておりませんがもう一人、秩父を訪れている著名な詩人がいたのです。その人とは今回紹介する野口雨情です。雨情は北原白秋・西條八十と共に、明治・大正・そして昭和初期にかけて、民謡・童謡界の三巨匠と呼称されています。しかし秩父路の雨情は宿泊した旅館が火災に遭ったり、廃業などにより宿泊資料や情報などが残されておらず、足跡も消息も不明のままの状態でした。



秩父のシンボル武甲山と秩父市街

そこで雨情の故郷・磯原や、雨情作品を数多く作曲している中山晋平の故郷・長野県中の故郷・長野県中野市の記念館など、

雨情関連の施設や関係者に接触を重ねたり、都内永田町の国会図書館、横浜の日本新聞博物館に足を運んだりする中で少しずつ資料や情報が得られるようになりました。

雨情が生涯に詠んだ三千点余の作品中、民謡作品の

「旅の風草」は、全国四十七都道府県に加え、当時日本が治めていた樺太（現・サハリン）、朝鮮、台湾の計五十件の代表作の各二編ずつ、合計百編の作品は、「全國民謡かるた」にもなり紹介されています。その中で埼玉を代表して選ばれているのは、

秩父山奥 谷間の水も
今は長瀬 とろ流れ

の長瀬と、

朝にや朝霧 夕べにや狭霧

秩父三峰 霧の中

の三峰を読み込んだ二作品なのです。

「ちちぶぶし」

ところで現在までに判明している雨情が埼玉を詠んだ作品は、「越生小唄」と「山吹の里」の二編以外はすべて秩父を紹介したものです。その秩父の作品は、前記長瀬と三峰の作品を収めた「埼玉民謡」および次に紹介する「ちちぶぶし」などです。「ちちぶぶし」は秩父の自然景観にはじまり、観光・産業・祭り・札所、さらに秩父気質まで折り込み、見事なまでに秩父の全容を十六篇の作品に仕上げております。観光部門

雨情が生涯に詠んだ三千点余の作品中、民謡作品の「旅の風草」は、全国四十七都道府県に加え、当時日本が治めていた樺太（現・サハリン）、朝鮮、台湾の計五十件の代表作の各二編ずつ、合計百編の作品は、「全國民謡かるた」にもなり紹介されています。その中で埼玉を代表して選ばれているのは、

秩父山奥 谷間の水も
今は長瀬 とろ流れ

生まれつきなら
秩父の気質
深い情も 熱くなる
という秩父気質を詠み込んだのです。
また市内荒川白久、皆野町と併せ、秩父地方に古くから伝わる人形芝居の家元・若林新一郎氏の嚴父・宗介氏は当時、横



長瀬の流れ

在の秩父路の観光資源・観光名所となる幻の名作です。
探し求めて行く過程で何点か所有者に巡り逢えました。そのひとつ、
時鳥啼く 三峰秩父

寶登山まで 空を行く

の所有者、秩父市荒川日野の横田進氏はこの作品の入手経路の説明後、実は「船頭小唄」のような退廃的な作者は好きではなかっただし、作品も評価しなかったといいます。しかしある時庭先に出て何気なく空を見ていたところ、上流の三峰から下流の長瀬に向かい時鳥が啼きながら飛んで行くのを偶然見たといいます。中空を飛ぶ時鳥の習性まで熟知し、その上三峯神社、秩父神社、宝登山神社三社まで詠み込んでいると思われる雨情には敬意を覚え、認識を改め作品への愛着も湧いてきたといいます。横田氏はこの作品を親族の形見分けで入手したといい市内に住む弟さん宅にも有ると紹介されたのが次の作品、

生まれつきなら
秩父の気質
深い情も 熱くなる

という秩父気質を詠み込んだのです。
また市内荒川白久、皆野町と併せ、秩父地方に古くから伝わる人形芝居の家元・若林新一郎氏の嚴父・宗介氏は当時、横

瀬町教育委員長で、『横瀬町史 人と土』（横瀬町刊）によると、雨情と若林氏は親父の仲で、昭和十二年から十八年にかけて市内の中村屋旅館などで幾度も酒を汲み交わしたといいます。「ちちぶぶし」の冒頭の作品、

秩父銘仙

機場の煙り

空になびいて 絶えやせぬ
は、雨情を機場などを案内したお礼にと、
雨情が若林家に贈ったものです。

「船頭小唄」「波浮の港」「三朝小唄」などで一躍観光ブームや、町おこしを演出させた雨情作品の中で、「ちちぶぶし」が脚光を浴びることなく、永く埋もれたまま今日に至っているのは、一体なぜなのでしょうか。

雨情と秩父三峰

雨情は東京から三峰まで丸一日も要した秩父路の交通機関がまだ不便の時代、三度も秩父を訪れ三度とも三峯神社を参拝しているのです。最初は大正十二年で、仲



▶雨情直筆の「ちちぶぶし」半折

雨情は秩父の山を愛していたといわれ、雨情と秩父の山のつながりを未永く残そ

うと、根岸氏ならびに大河原正見司書、三峯神社の宮澤宮司らで、「秩父三峰」の歌碑建立を図ったところ、篆刻のつ

名手・清水伯翁氏（写真家清水武甲氏の嚴父）も皆さんのが友情に私も……と参加され、清水氏は自ら石を選ばれ三か

介の労を執ったのは当時秩父町立図書館長・根岸萬作氏で秩父三峰を詠んだ作品はこの年の作といわれています。二度目は大正十五年で、三峰山で秩父地域の校長先生を集め童謡の講話をを行い、参加した校長先生全員に半折と短冊の二作品をくばつたといいます。

その中の一件が市内の宮地地区の開業医師宅の、「人生は隨筆なり」と大書した半折と、長瀬を詠んだ短冊で今も大切に保存されています。

さらに戦時色の濃い昭和十六年九月、依頼された秩父商業学校校歌の制作を兼ね、三度三峯神社を訪れ、この折参拝記念の署名以外、秩父路での雨情自身の記録は何一つ見つかっておりません。

雨情は秩父の山を愛していたといわれ、



三峯神社

月程で仕上げ、雨情ゆかりの歌碑が三峰山上に建てられたのです。郷土を代表する写真家で作家でもある清水武甲氏は、自著の中で三峰山の霧に触れ、「この山の霧は秩父地域の中、どの景観にも優る」と絶賛されております。秩父地域で唯一の雨情の歌碑、「秩父三峰」は埼玉を詠んだ代表作として、多くの人たちの善意の奉仕活動により、この地に建てられたのもむべなるかなです。歌碑は日本武尊像のある境内に斎藤茂吉を始め多くの歌碑共々立っております。

昭和三十五年十一月二十三日、この雨情の歌碑除幕式が盛大に執り行われた紹介記事を県立熊谷図書館で入手しました。それによると、当日招待された雨情の夫人は、歌碑の前でしばし黙祷を捧げた後、「雨情が三峰山上に生きて立つて、私を迎えてくれたような気がして胸が一杯です」と、感涙した様子を伝えていました。

三峯神社の日誌（日鑑）にも当時の詳細記録があることを神社関係者から教示して戴き、原文のまま一部を再現してみます。

「十一月二十三日、日 晴 五度 五

ト 本日十一時より歌人野口雨情先生歌碑三峰公園地内に建設中なりしが関係者を招待して除幕式挙行修祓式地鎮祭斎主宮澤宮司祭員は廣瀬権宮司外神事部員奉仕歌碑除幕式に参列せる方々のお名前雨

情會幹事権藤圓立 雨情未亡人野口つる様
外一名秩父市立

図書館長根岸萬作同館司書大河

原正見秩父市教

育長鶴澤福松氏

奉納関係者清水

伯翁師とその家

族（以下略）

三峯神社參拝

の折、雨情は駕籠

籠を利用したこともあるといわれますが、

鉄道も交通網も未開拓の時代、雨情を山

間僻地の三峰へ駆り立てたものはなぜか。

それは雨情の故郷・茨城県磯原に広く伝

わる「お狗様」信仰の延長に三峯神社の

存在があつたと推察されます。そう言え

ば雨情がこの地で詠んだという、

わしが願ひは お狗さまよ

家内安全 ただひとつ

に至っては、まさに「お狗様」信仰そのものです、また先に紹介した『全国民謡



秩父三峰の歌碑

かるた』の秩父三峰の絵札は霧ではなく、「お狗様」なのです。それにしても秩父路の雨情は「三峰の霧」同様、今なお深い霧の彼方の存在なのです。

おわりに

三峯神社は、長瀬の宝登山神社・秩父市の秩父神社と並び秩父三社の一社で、千九百年前に日本武尊が東征の途次、國生みの神、イザナミ・イザナギの二神をお祀りし創建した場所がここ三峯神社といわれます。その折、日本武尊がこの地の山中で道に迷っていた時、現れた狼（ヤマイヌ）に案内され事なきを得たといいます。全国の多くの神社の鳥居の近くなどには一対の狛犬が鎮座しておりますが、三峯神社では狛犬ではなく「お狗さま」です。

最後に三峯神社での見どころ、お勧め内容をいくつか紹介致しましょう。

三、当神社の「白いお守り」は、拝殿前の石段下両脇に聳える樹齢八百年といわれるご神木の気が籠められた靈験あらたかな上、毎月一日のみ限定で入手できるこのお守りを求め、毎回長時間の行列を要する人気の高いものです。

三峯神社は秩父市内から四十キロも離れた山奥に位置し、参拝用の登山道および、ケーブルカーが廃止された今、西武秩父駅から一日四往復のバス便が運行されております。その西武秩父駅構内にこの程入浴施設・「祭りの湯」が新規オープンし、観光を兼ねた多くの人たちにも喜ばれております。



三峯神社の狛犬

一、毎年、十五夜・十三夜当日は夕方より、神社の境内に特設会場が設けられ、月讀祭が盛大に執り行われます。祭壇には供物が供えられ、篝火が焚かれる中、平安時代に成立した古式豊かな雅楽の演奏に合わせ、巫女たちの舞が披露され宴席も設けられる優雅な行事で、毎年多勢の参加者で賑わいます。

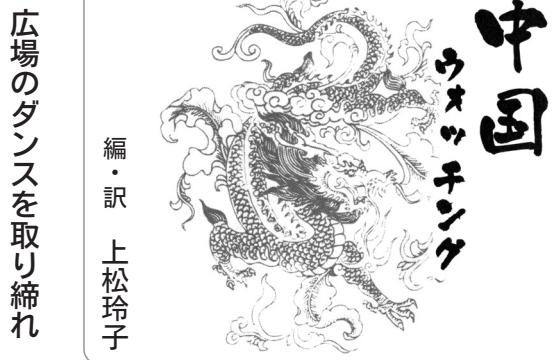
二、秩父地方の各地では雲海が楽しめますのが「三峰の霧」同様、当神社の各所で望む壮大な雲海は、他では体験できない思い出に残る素晴らしいものです。嬉しいことに、当神社では日帰りの入浴温泉も楽しめます。

三、当神社の「白いお守り」は、拝殿前の石段下両脇に聳える樹齢八百年といわれるご神木の気が籠められた靈験あらたかな上、毎月一日のみ限定で入手できるこのお守りを求め、毎回長時間の行列を要する人気の高いものです。

三峯神社は秩父市内から四十キロも離れた山奥に位置し、参拝用の登山道および、ケーブルカーが廃止された今、西武秩父駅から一日四往復のバス便が運行されております。その西武秩父駅構内にこの程入浴施設・「祭りの湯」が新規オープンし、観光を兼ねた多くの人たちにも喜ばれております。

広場のダンスを取り締め
公園や広場での主に年配の人
が市民に騒音被害をもたらして
いる。この市民の関心の高い問
題に関して、浙江省人民代表大
会常務委員会は「紹興市文明行
為促進条例」を採択し、こうし
た行為の禁止と罰則を定めた。

条例の内容は、公民は公共環
境における文明行為規範を遵守
すべきであり、集団ダンスや路
上パフォーマンスなどの屋外活
動は規定に基づいて場所や時間



編・訳 上松玲子

正直な運転手でよかつたが

活動を組織した者に公安機關が警告し、警告後も尚改まらない場合は2百元以上5百元以下の罰金に処される。

（『新華社』2017年10月6日）

真偽のほどは

10月4日雲南省通慶州に隕石が落下した。全国の天文学愛好家や旅行者たちは、この「香格里拉（シャングリラ）隕石」を求めて次々と現地に駆け付けた。インターネットでもこの話題で

屑鉄の回収価格は1キロ0・5元程度で正月以来変わっていないのに、古紙の回収価格は1キロ1・2元と正月から0・2元も上がっていることを一般市民は知らないだろう。古紙急騰の原因は2つある。国が古紙の輸入を禁止していることと、環境汚染の原因産業として製紙メーカーが国家の厳しい取締りを受けていることだ。

10月11日の午後3時半過ぎを乗せた。目的地に着いた時、陳さんは上海市内から若い女性料金メーターは10·1元を表示していた。陳さんは気前よく「1元はいらないよ」と言い、女性はスマートフォンの決済アプリ「支付宝」で支払い、車を降りた。ところが陳さんが入金通知を見ると、1桁多い千元になっていたため、陳さんは女性を大声で呼び止めた。いぶかしくいて青くなつた。どうやら女

エティ番組の趙本山のコメディ見たのかい。次からスマホで支払うときは慎重にね」。

（『新民晚报』2017年10月12日）

そしてこれに違反した場合は同じアプリから9百元を返金され、そのものだ。

のところ隕石発見の報告は受けていないということだ。

（『蘭州晚报』2017年10月13日）

鉄より高い紙

毛署長は「隕石の真偽は専門家の科学的鑑定を待たなければわからないが、隕石収集家やその他消費者は詐欺被害に遭わないためにも業者の説明を鵜呑みにして取引をしてはいけない」とコメントしている。

香格里拉市政府によれば、今

10月6日から8日、全国31の製紙メーカーが古紙の買い取り価格をトン当たり20元から2百元引き上げた。

10月になって各種紙類の値上がりが加速している。第4四半期は紙類の需要が増える。贈答品の包装資材需要のほか、11月と12月はインターネット通販の大型イベントを控えている。イベント時は国内を10億件の宅配便がかけめぐる。紙箱の需要が高

まり、紙箱用の紙は需給がひつ迫しままだまだ上がりそうだ。さらには、9月から12月は学校関係の教材の印刷が始まる時期だ。こうした要因から古紙の価格は3日ごとに上がるといつても過言ではない。

製紙業界では国の厳しい環境保護基準の中、中小の製紙工場が次々に廃業し、大企業への集中が進んでいる。しかし、大企業も環境基準を満たしながらの設備投資や増産は難しい。大手製紙企業の営業利益は大幅に伸び、業績見通しは今後も明るく、株価も上がっている。

ホワイトカラーに対する求人状況に関する報告書によれば、今年秋季の全国37都市のホワイトカラーに対する求人の給与の平均は7599人民元という。最高は北京市の9900元。続いて、上海、深圳、杭州の順位は前回調査と変わらないが、寧波市が広州市を抜いて第5位

ホワイトカラーの求人

の競争倍率もやや上昇している。『中国新聞ネット』2017年10月19日

ブランドを育てる

過剰な一方で高品質製品の生産者が過剰な一方で高品質製品の生産者が不足する状況を打破すべく、市政府の主導で5千以上の零細工場が閉鎖され、2013年から国のモデル事業として子供用運動靴の品質向上とブランド育成が図られた。今では全国的に有名な商標1つと浙江省全省で有名な商標が9つ育った。

ドは、工場出荷価格の10倍で売れるが、自社ブランドのものは4分の1の価格だ。

国内の企業も模倣にはたけているが、耐久性や品質の均一性などではまだまだ学ばなければいけないところがあると愛仕達の陳董事長は分析している。

報告によれば求職倍率は全国平均30・4人が1つのポストを争う状況だ。従来の調査データと比べると、競争は緩和される傾向があり、この秋は転職に適していると言えよう。求職者側もやみくもに応募書類を送り続けるという傾向は鳴りを潜め、受動的求職傾向にあることも競争指数が低調である要因だ。

業者別求職競争率の高さではネットゲーム業界が首位に返り咲き、続いてITサービス、インターネット電子ビジネスと続

1つは世界で名の通ったブランドの子供靴で工場出荷価格は1足65人民元だが、市場では3百～4百元で売られる。もう1種は自社ブランドの靴で小売価は50～60元だ。「コストは大差ないのに、あまりに小売価の差が大きい。当社の技術は向上しているのに、ブランド力がないばかりに『惜しい』」と同社董事長。2010年に国内大手ブランドの靴の生産を手掛け、ブランドの力を思い知つて以来、市場の分析から技術の向上、最新の生産設備の導入に努め、一歩ずつ中型都市から大型都市へと市場を開拓してきた。まさに靴の町、温嶺の靴製造業30年の変遷そのものだ。中小の低品質品生産者が過剰な一方で高品質製品の生産者が不足する状況を打破すべく、市政府の主導で5千以上の零細工場が閉鎖され、2013年から国のモデル事業として子供用運動靴の品質向上とブランド育成が図られた。今では全国的に有名な商標1つと浙江省全省で有名な商標が9つ育った。

温州市瓯海区の通達光学有限公司は外国の有名ブランドの眼鏡を多く生産している。同社の周董事長は1つの海外ブランドの眼鏡フレームを示し、工場出荷価格2、3百元に対し、小売価は20倍もの5、6千元にもなることに釈然としないと述べた。瓯海区は眼鏡生産の歴史が古く、中国の五大産地の1つで500以上のメーカーがある。高級ブランドのサングラスの7割をこの企業が磨いてきた技術力を生かして生産している。

次に訪れた愛仕達は国内最大の厨房用品メーカーで300以上の大手の外国ブランドの生産を行っている。中でもドイツのブランドは、工場出荷価格の10倍で売れるが、自社ブランドのものは4分の1の価格だ。

国内の企業も模倣にはたけているが、耐久性や品質の均一性などではまだまだ学ばなければいけないところがあると愛仕達の陳董事長は分析している。

中国共産党大会

満つれば欠くるは… “習一強”体制のゆくえ

田畠光永（会員）

注目された中国共産党の第19回全国代表大会が終わった。10月24日の閉会に続いて、翌25日に開かれた第19期第1回中央委員会総会で、中央政治局、中央軍事委員会、中央紀律検査委員会のメンバーが決まり、習近平総書記体制2期目の5年がスタートした。

内戦という武力闘争に勝利して権力を掌握した直後には、党のトップの毛沢東が国政の全権を握ったのは自然であるとしているのである。

この大会を報じた各メディアが申し合わせたように強調したのは“習一強体制固まる”であった。しかし、この言葉にはすでに近未来に待ち受ける不安定が含意されていることに注意しなければならない。

中国が中国共産党の一党支配のもとにあることは是非は、この主題ではないが、その一党支配のメカニズムがまたきわめない。一般党員も国民も結果を

知らされるだけである。
—鄧小平方式—
このブラック・ボックスに多少なりとも光を当てるようになつたのが、1980年代から90年代にかけて、副首相のポストにいながら全権を掌握して「最高実力者」と言われた鄧小平であった。彼自身、権力を陰で握りないものである。

内戦という武力闘争に勝利して権力を掌握した直後には、党のトップの毛沢東が国政の全権を握ったのは自然であるとしている。その後の権力継承についてのルールはいまだにない。その間、権力をめぐって多くの悲劇と政治の混乱が起つた。

この間、胡錦濤を政治局常務委員に入れたり、常務委員7人を除いた18人の中に孫政才（重慶市トップ）、胡春華（広東省トップ）という1960年代生まれの若い幹部が登用された。17年にこの2人が常務委員になれば、後継候補として広く認知されることになる。

もつともこの配置は総書記に就いた習近平の、とうより、辞めてゆく胡錦濤の発意であつたろうから、今、思えば、習近平は自らの任期を10年に制限するようなこの人事には当初から反発していたであろうことは想像に難くない。

—トランプもハエも、軍、共青団誕生した。
かつての劉少奇、林彪の悲劇、あるいは「四人組逮捕」という、その過程は一切明らかにされなかつての悲劇、あるいは「四人組逮捕」といった混乱なしに、ここ4半世紀、

中国の政治が動いてきたのは、「総書記10年、後半のスタート時に後継者候補内定」という鄧小平方式のおかげである、といつていい。

2012年の習近平総書記の

スタート時にもこの方式は生きているように見えた。中央政治局員25人のうち、常務委員7人を除いた18人の中に孫政才（重慶市トップ）、胡春華（広東省トップ）という1960年代生まれの若い幹部が登用された。17年にこの2人が常務委員になれば、後継候補として広く認知されることになる。

もつともこの配置は総書記に就いた習近平の、とうより、辞めてゆく胡錦濤の発意であつたろうから、今、思えば、習近平は自らの任期を10年に制限するようなこの人事には当初から反発していたであろうことは想像に難くない。

さて、その後の習近平の施政を見るに、特筆すべきは経済政策でもなれば外交活動でもな



習近平（中央）、李克強（右から3番目）と5人の新常務委員

く、「トランプもハエも叩く」のかけ声で展開された腐敗摘発である。これまでに末端幹部を含めて153万人という対象の裾野の広さもさることながら、前胡錦濤時代の党中央弁公序主任の

令計画を手始めに、前政治局常務委の周永康、軍トップの徐才厚、郭伯勇と大トランプを次々とお繩にかけていった。これには大衆が快哉を叫ぶ一方で、政権内に「習、恐るべし」という空気を生むことになった。

2015年9月3日、抗日戦勝利70周年記念軍事パレードの式場で、習近平は「30万人の人員削減計画」を明らかにして、大規模な軍の再編に手をつけた。トップ2人を射落とされた軍には抵抗するすべもなく、2年のうちに八路軍以来の伝統の組織は大きく改編され、その過程で軍人事は習の自家菜籠中のものとなつたことは間違いない。

習近平はさらに共産党の下部組織でエリート幹部の養成機関である共産主義青年団を批判的とした。その体質が「機関化、行政化、貴族化、娯楽化」しているというのである。「かけ声ばかりで、実体がなく、四肢は麻痺している。」決まりきった話をするだけで、広汎な青年のリード役どころか、尻尾に成

り下がっている」（習『青少年と共青団の仕事について』2017）と悪罵を浴びせたほどである。

そして、今年9月には共青団のトップ、秦宜智第1書記を国家質量検査検疫総局副局長といふ閑職に異動させ、翌月の共産

党大会への出席資格も与えなかつた。共青団出身でも幹部になれるとは限らないことを実例で示すとともに、同出身の若手政治局員、胡春華（54）に引導を渡したものであつたろう。

もう1人の若手政治局員、孫政才（56）はすばり処分された。

7月、任地の重慶から北京へ出張し、そこで拘束されて以降、公の場から姿を消した。腐敗で紀律検査委が調査中というだけで具体的な罪状は明らかにされていない。後任には習直系の陳敏爾（57）が貴州省のトップから転じていている。

こうして第19回党大会は10月18日の開会を迎えたのである。結果として出てきた最高幹部の常務委員7人の顔ぶれを見ると、

習近平、李克強以外の新任5人はうち人脈的に100%習派ではないのは汪洋、韓正だが、いずれも習との関係は悪くないし、残りの3人、栗戰書、王滬寧、趙樂際はいずれも現状では習の身内と言つていい。後継候補と目される人物はいない。

さらに18人の政治局員をみると新任15人のうち、かつて習の部下だった者が5人、習の学友が2人もいる。反習近平派と目されるような人間はない。

江沢民、胡錦濤が従い、自分もそのおかげで今日がある鄧小平方式を、習近平は大きな議論を起こすことなく有耶無耶にするに成功したのである。世間はそれを「習一強体制の強化」などとこともなく呼んでいることは、習近平にとつては願つてもないことであろう。

では、このまま5年が過ぎた暁にどうなるのか。習がそのまま居座ることを中国社会は認めるとか、それとも…。「満づれば欠くるは、世のならい」ではある。

旅記

<2017年7月22日～7月29日>

中國内陸部「甘肃省植林地」と日中交正常化45周年 「北京友好団体訪問」の旅

(監修 村田嘉明)

中国の旧友との再会 「蘭州」市内

矢野一彌(善隣訪中団团长・会長)

本年は日中交正常化45周年

にあたります。国際善隣協会は過去に植林して来た中国各地の内、特に今回は関係の深かった地方を対象に訪問しました。同時に、私がお世話をになりました方々とも現地で面会できました。

まず始めに過去数回、訪問、見学したことのある甘肃省「敦煌」について中国国内数ある壁画の中でも特に優れている「敦煌壁画」の研究者、中国一の研究者と言わされている王志鵬先生(敦煌研究院・民族宗教文化研全員を迎えて下され長い間、お話

研究所)と、お会いしました。世界各国を訪問し研究発表、論文出版する学者としての王志鵬先生の努力には頭が下がります。近いうちに子どもを日本に留学させたいと言う言葉には「日本が大好き」ということであり、「自分と同様に子どもを宜しく指導ください」と言うことだと理解しました。

次に中国大使館文化部欧陽安先生と北京で、お会いすることできました。先生が東京中国大使館在職中、特に中国大使館主催のイベント、日中会館での観櫻会等々開催の折り何かと指導を受け日中友好が永く続くことをいつも心を持っておられました。今回、国際善隣協会とつては意義ある訪問であります。関係各位に感謝申

がきましたことについて感謝申し上げます。

最後に北京訪問のたびに時間を作つてお会いくださる自動化学会製造技術委員会、现代物流信息网络工程研究中心等に籍をおく周曉光先生、本年5月中旬大使館教育部を退職されました

が、今後は後輩の指導に力を注ぐと言われておりました。特に

印象深い想い出は私の主催する中国語教室の餃子パーティーにご夫婦で中国人留学生と共に参

加されました。奥さんが京劇の一端を披露されたことがあります。その折り、私も北京に来て自分の家にホームステイしてもらひ京劇の樂屋裏見学に連れ

て行つてあげたいと言われました。その結果、私は北京に来てからであります。中国の砂漠対策が話題になりました。9月には内モ

ンゴル自治区オルドスで砂漠化対処条約のCOP13が開催され、2030年に向けて砂漠化対処の戦略などが議論される予定になつております。その流れの中で中

とも実現したいといまから楽しみにしております。今回の中国訪問では各地で立派な方々と意見交換ができました。国際善隣

協会にとっては意義ある訪問でした。今回、国際善隣協会一行全員を迎えて下され長い間、お話

北京市・甘肃省訪問の旅 印象に残ったこと

澤村 宏(委員・諮問会委員・環境委員)

26日、大使館表敬訪問。善隣

協会が行つてある甘肃省蘭州市と隣接する永靖県・康樂県での

植林事業の内容・経緯などを説明し、小渕基金の活動の枠組みが変わつても、今後とも協力で

きるものがあれば参加したいなど説明した。環境担当の書記官は、先月に甘肃省蘭州市等に砂漠化防止状況の視察出張をしたばかりであり、中国の砂漠対策が話題になりました。9月には内モ

ンゴル自治区オルドスで砂漠化対処条約のCOP13が開催され、2030年に向けて砂漠化対処の戦略などが議論される予定になつております。その流れの中で中

とも実現したいといまから楽し

みにしております。中国政府が関係国や国際機関を視察に招待した由。砂漠化対処はもともとアフリカの砂漠対策から始まっているが、中国へも視察が移ってきている。対策は單なる環境の問題だけでなく、イ

ンフラ整備など生活向上につながるものであり人間の対処の仕方が問われている。また、一帯一路も背景にあるようだ。善隣協会のこれまでの植林事業の経験・実績などが生かされることを願っている。中国の環境政策をみると、国内と国外に対するものがあるが、変化も大きく、その対応のために自分で動き出す時代になってきた印象をうけた。

(注) 善隣誌 10月号10~17頁に「中国の環境問題」環境省井上直己氏(善隣公開フォーラム講師2017年7月3日)で国内状況の紹介記事あり。

中国は外に対しては世界の環境問題をリードしていくことをを目指しており、国際会議を招くなど環境立国を示している。

5月には第40回南極条約協議国会議が北京で開催され、初めてホスト国となつた。環境を配慮した調査などが議題であつたが、政府高官も参加している。また、2020年に生物多様性条約の締約国会議COP15の中国での開催が決まつて、愛知目標後などがテーマとなる。

日本としてはこれまでの施策・実績などから貢献できることが多分野である。会議開催を機に中国でも生物多様性の理解が市民のあいだでも進むことを期待したい。

なお、27日に訪問した「四不像センター」は、一度中国で絶滅した鹿の一種を復活させ、野生に戻す事業をしている。同センターの博物館には環境教育の機能もあり、生物多様性の視点から多くのことを学ぶことができた。

◎大使館で面会した方 福井貴
規一等書記官、増田正悟一等書
記官 の紹介記事あり。

中国旅行

渡邊澄子（会員）

前泊を含めて7月21日から29日まで本会企画の「日中国交正常化45周年北京市・甘粛省訪問の旅」に参加した。中国の広大さは無辺だ。これまで各地を経

巡っているが甘肅省ははじめて。北京経由で蘭州へ。この度の旅行の目的は永靖県と康樂県の2か所の植林地現場訪問なのだ。日中友好に植林が有効手段である意味を私はまだ充分に理解し得ていない。だが、すでに大きく茂っている所、1メートル位に育っている苗木が続いているのを眺めるのは楽しく、植林の重要性が何となくわかった。康樂県の康樂の意味をガイドの学生に聞くと健康で楽しい街の意味だが、楽しいの中味は分からぬと笑った。感動のあまり3度も行った大同の雲崗石窟を見ている者としてはここでの石窟見学は大回りして歩くほどのことでもないと心中で呟いてしまつた。

はるかに見上げる山の頂上の
お寺まで続く石段を意地になつて
登り詰めた白塔山は思い出に
残るだろう。麋鹿苑は興味津々
で世の中にこういう動物がいた
ということを帰ったら仲間に吹
聴するつもり。意義深かったの
は最期の訪問先となる、C.R.I.

明してくださったのはここでの看板キヤスターという王小燕さんで、前日、何故なのか発言禁止を言い渡されていたが発言してしまった。その後の職員食堂での昼食交流会の時、お役目上忙しく立ち回っていらした王さんが私の席にいらして、ゆっくり話せないのが残念で口惜しい、もつといろいろ話し合いたいと、あれこれ聞かれ、私も応じてあれこれ話し、話題が核問題になつたとき林京子についての本を読み、日本に行った時、逗子の林さんのお宅に伺つたと聞き、あら、その本は私が書いたもの、と、仲好しの林さんのお宅には何度も行つていることなど話が弾んだが、時間が無い。北京にいらつしやることがあつたら必ず、きっとですよ、連絡して欲しい、と私の手をぎゅっと握つて職員に呼ばれて立ち去つた嬉しい嬉しい一幕で私の中国旅行の旅は締めくられた。

蘭州～北京移動のでき事

(最新中國宅配便事情)

塚原美津子（会員・諮詢会委員）

旅程5日目「蘭州」のホテルを早朝、食事も取らず慌ただしく飛行場に急いだ。北京行きの国内便に乗るため列に並んでいたとき、愛用のスマホが無いことに気付いた。当日はいつもの通り懐中電灯と共に目覚まし機能をセットして枕元に置いたことを思い出したまではよかったです。既に搭乗寸前、ホテルに取り戻るわけにはいかない。事情を察した八島さん、村田さんが、それは根気よく、面倒も厭わざホテルに電話してください私の記憶通りのところに有ることが判ったうえ北京の旅行社まで送つてくれるよう交渉までしてくださった。しかし内陸部の蘭州から北京に無事届ける方法があるだろうか？　スマホは端末本体内部にリチウムイオン電池内在のため荷物として空輸

できない。陸路トラックで運ぶが帰国する29日までには不可能だという。この時点で腹は決まった。必要な情報をしつかり詰め込んだスマホが手許に無いのは本当に不便極まりないし連絡が取れなくてどれだけ人に迷惑をかけるかもしれない。が、ハンドキャリーしか方法がないなら帰国したらすぐ、おとなしく私を待っている我が子（愛用スマホ）を迎えて来ればよい。ちょこちょこ中国に出張する友人に頼もうかと思いをめぐらしたとき、八島さんが「今度北京に来るとき受け取ってあげるよ」と言つてくれていて。有難いことですが、これ以上お言葉にに戻つた我が子（愛用スマホ）には、ごめんねと謝った。私は不注意により皆様のお手を煩わせ、ご心配をおかけし、また温かい優しさにも感謝し、現在の中国の流通（インフラ）の一面をちょっとだけ覗いたハラハラ・ドキドキ・ニコニコの旅でした

羽田空港に向かったが、CA中止された。そのため、北京空港での乗継便に間に合わず、北京空港で8時間待つMU中国東方航空便で蘭州に21時半頃、到着した。植林地・永靖県城での県林業局招待夕食会に出席できず、深夜12時過ぎ植林地に近いホテルに到着

夜、もう一人の友人と食事中に旅行社から連絡が入った。「トラック」に載せてあるはずの荷物番号をたどって、何回も何回も所在を確かめたところ、間もなく王府井の旅行社に配達されるという。今どきの若者ではないが、恥ずかしながら私の口から「うそ!!」食事中の友人（中国人）を矢野さん所崎さんにお願いして約束した駅まで走りに走つて改札口の棚越に旅行社の彼女とハグ・ハグ……。周りの人達（中国人）は何と思ったか。人の目なんか眼中にない。彼女に充分に御礼をいい、手許に戻つた我が子（愛用スマホ）には、ごめんねと謝った。私の2人の学生さん、再会した友人達、訪問先の方々、道で声をかけた見知らぬ人々、楽しい旅をありがとうございました。発展著しい中国の宅配便・流通、広大な国土の流通網に注目しました。

訪問の旅 甘肃省・北京

山路靖雄（善隣誌友）
山路スミ（群馬県前橋市在住）

第1日早朝 意気揚々として

羽田空港に向かったが、CA中止された。そのため、北京空港での乗継便に間に合わず、北京空港で8時間待つMU中国東方航空便で蘭州に21時半頃、到着した。植林地・永靖県城での県林業局招待夕食会に出席できず、深夜12時過ぎ植林地に近いホテルに到着

した。善隣協会の植林地・2か所「永靖県劉家峽庫中日友好林」「康樂県中日友好生態綠化示範林」を見学した。立派に成長した樹木を見て現地の人々のご苦労に感謝します。

北京での日本大使館・中国文化部・中国生物多様性産業連盟・中国生物多様性保護研究中心・北京市麋鹿生態實驗中心・中国國際广播電台・中国科學技術交流中心の見学・訪問は何れも有意義でした。北京市麋鹿生態實驗中心では初めて「四不像」を見た感激は忘れません。中国國際广播電台では日本語部のアナウンサー王小燕さんの案内で局内を見学し、北京放送42年の歩みを聞き、1973年の長野県志賀高原で行われた日中友好青年キャンプに北京放送から「連帶のメッセージ」が送られたことを懐かしく想い出しました。

当日、王小燕さんから紹介された日本・中国の人物アニメーションの創立者・持永只仁の東京近代美術館での展覧会を帰国後見学し、会場から持永氏の娘さん

と共に彼女に電話しました。

観光では蘭州から西南約130km黄河三峡の一つ「劉家峽水库」を高速モーターボートで往復し世界文化遺産「炳靈寺石窟」見学、蘭州市内では白頭公園・中山鐵橋・水車公園・五泉山公園・甘肅省博物館を訪問しました。

この旅では雄大な「黄河の流れ」を堪能できました。またバスで移動中、車窓から見る甘肃省独特の「山肌の地形」に眼を見張りました。

今回の旅行で、善隣協会の幅広い公益活動について再認識しました。永年にわたる国際交流活動、ご苦労様です。この旅行の企画から実施までして頂いた村田氏に感謝します。

善隣中国旅行の総括 (中国人との現地交流)

村田嘉明

(旅行幹事・會員・國際交流委員)

善隣・国際交流委員会では中國西北部甘肃省植林地(3か所)訪問の旅行計画を5~6年前から立案していたが実現できなかつた。

た。甘肃省舟曲県(四川省北部…九寨溝県に近い)と省都・蘭州に近い「永靖県」「康樂県」。

本年2月頃から旅行計画を立て、3月の八島顧問の甘肃省案し、3月に旅行日程が決まり、植林地現地出張時に現地旅行社

見学、蘭州市内では白頭公園・中山鐵橋・水車公園・五泉山公園・甘肅省博物館を訪問しました。

この旅では雄大な「黄河の流れ」を堪能できました。またバスで移動中、車窓から見る甘肃省独特の「山肌の地形」に眼を見張りました。

今回の旅行で、善隣協会の幅広い公益活動について再認識しました。3月末に旅行参加者13名が決定、4月初旬、航空券(国際便&国内便)を旅行代理店経由せずC

A中国国際航空で早期購入できた。

今回の旅行のコンセプトは日本本の旅行業者・添乗員を付けない。觀光地巡りなどのツアードなう、甘肃省では現地林業局職員との交流、蘭州市内ではボランティア参加の蘭州理工大の学部生・院生が日本語ガイドと昼食会場と夕食会場の予約までしてもらつた。中国北京の大手旅行社(2013年葫蘆島旅行で依頼実績有)で北京旅行社のガイドを「全日」つけた。甘肃省で

は現地旅行社を利用せず、甘肃

省林業局職員(課長)が3日間、蘭州から専用車(バス)で現地植

林地に同行(出張)してもらつた。植林地は2か所とも臨夏回

族自治州の中にあり回族農民の集落をとおり、多数モスク(回教寺院)が見られた。蘭州の南、

約150kmの康樂県では日中友好夕食会に招待され熱烈歓迎を受けた。翌日「植林地」に案内され、自然風土の厳しい乾燥地帯に植林した樹木を確認できた。

当日、康樂県城の林業局職員が多数、植林現場に参加し現地管

理事務所で果物(スイカ・桃など)の歓待を受け日中友好交流

した。日本人で甘肃省南部・四川省に近い康樂県まで訪問したこととは大変意義深い。後半の4

日間は北京で中国科技交流中心・

中国文化部・生物多様性産業連盟・北京麋鹿生態實驗中心・中

国國際放送局を日中国交正常化45周年の年に表敬訪問した。7

月29日夕刻CA167便で羽田空港へ定刻17時25分帰国した。

是彼員会

文化放送で古海建一 前会長のヒストリーを紹介

・文化放送「大竹まこと ゴールデンラジオ」で古海前会長のお話が放送されました。放送内容を掲載します。

ザ・ゴールデンヒストリー『私の旅』8月23日（水）「古海建一さん」2017

大竹　日々、黄金の歴史あり。
ザ・ゴールデンヒストリー。今週は「私の旅」というテーマでお送りしています。

昭和31年8月。古海建一さんは中国へと向かいます。戦争中、生き別れとなりもう会えないと思っていた父が、中国で生きていたのです。

古海さんは84歳。大蔵省の官僚だった父・忠之さんは戦時中、満洲国に派遣され終戦の時は、

父が中国で生きていると知ったのは日本に帰国して10年後。シベリアに抑留された後、父は中国・撫順の戦犯管理所で、刑に服していました。一度限りの面会が許され古海さんは命懸けで脱出した中国へ再び母と戻ります。

古海さんは日本に帰国して10年後。ソ連兵の略奪や中国国内の内戦に何度も遭遇しながら生き延び日本に引揚げたのは、終戦の翌年でした。

父は母と2人、避難します。さんは母と2人、避難します。

再会した父は昔と同じ毅然とした佇まいでした。同行した他の受刑者の家族達が泣き崩れる最後まで残り、職務を果たすと決めた父と別れ当時12歳の古海さんは自分たち家族が生きた時代を想います。軍の力が強くなり、国の仕組みを動かし議会も暴走を止められず、挙国一致で、戦争に向かったあの時代。父はその後、63歳で釈放され帰国。昭和58年、83歳で亡くなります。父の遺品の中には、記には満洲建国の責任を果たす為、中国で死ぬ覚悟でいた事が綴られています。そしてそれが緩られていきました。そしてそれは、面会に行つたあの旅で古海さんも感じていた事でした。

古海さんは日本に今を案じています。

「戦争は絶対反対」と感情論で言つてないで、国の仕組みが

して大げさに泣いたりしないでおこうって。お互い生きるか死ぬかをかい潜つてきましたから生きているなら、それで十分だと思いました」

危うくならない為にどうすればいいか、そこから考えないと私は駄目だと思うんです。それに『絶対反対』というのは止めたほうがいい。世の中に絶対正しい事なんてないです。かつては戦争が絶対的な正義になつて日本が戦争一色になつたでしょ。色々な考えがあるほうがいいんです。絶対ほど危いものはないです。

2度と戻る事はないと思っていた中国へ父に会うため出かけた旅。それは日本が無理を重ねてきた歴史を見つめ直す旅でした。

古海建一さんは84歳。何故日本は戦争を始めてしまったのか。検証されないまま歴史が風化していく事が、何よりも今気掛かりです。

■大竹まこと「ゴールデンラジオ」毎週月～金曜日 午後1時～3時30分生放送■「人の数だけ物語がある。ザ・ゴールデンヒストリー朗読CD ブック」扶桑社、1400円+税、発売中

陶々俳壇

ようよう

兼題..「すがれ虫」「向」
席題..「風」

高西風や拍節の波寄せ來たる (南山)	橋本紅杓
冷やかや本堂までの長廊下	"
秋出水向ひに見ゆる岸遠し	"
風の瓢や句作り思ふままならぬ	戸部まもる
○お向ひの老嫗逝けり菊残し (宏太) (由紀子)	鈴木南山
古本の整理手間取る夜長かな	"
○古い杖励ます路傍すがれ虫 (まもる) (岡和水)	大内善一
○前向きの気持ちが支へ秋日和	"
○名月に向いて咆哮老いの果て ○秋の夜の静謐といふ時惜しむ (善一)	佐藤若杉
花野行く人さまざまの姿にて	宏太
硫黄香の湯に浸す身やすがれ虫	和水
花野行く人さまざまの姿にて 風の盆街にしみ入る唄踊り	長野宏太
お隣の孝行娘色鳥来	馬場由紀子
奈良は風芒は赤く暮れにけり	"
☆最高点 ○由紀子選 () 各特選	

選後評

馬場由紀子

子規の「写生」について 長野宏太郎

名月や受賞叶はぬノーベル賞

南山

科学者らしい作者の感慨である。毎年この時期になるとノーベル受賞者の予測を樂しんでいる方も多い、自國の受賞者を期待する声が大きくなる。名月がノーベル賞のダメルに見えてくる。

すがれ虫世の興亡を誰か知る

若杉

作者は戦後の日本を見続けてきた。大陸ではまさに必死のところ生き抜き、引き揚げてからも壊滅状態の日本の復興のために働いてこれらた。その作者が静かな秋の夜何を思つただろか。まるで涅槃に向かう人びとを思わせるよくな穂性を感じる。

花野行く人さまざまの姿にて

宏太

秋の山の裾野に広がる花野に惹かれ訪れる人びと。その姿がさまさまだと作者は認めている。果たしてこの花野は現世のものであろうか。まるで涅槃に向かう人びとを思わせるよくな穂性を感じる。

すがれ虫寂し芭蕉の碑の下に

善一

奈良の芭蕉碑を訪れての吟行句。芭蕉にすがるのは俳人ばかりではないようだ。秋の終わりの虫が芭蕉を慕うように寂しく鳴いている。作者は改めて造化に従うということを思われたのではないだろうか。

秋風や少くなりしクラス会

和水

旧交を温めるためのクラス会の人数がぐっと少なくなってしまった。長生きするということは、同時に寂しさを語うことでもある。どんなに寂しごとく作者は清く正しく強く生きている。

『墨汁一滴』

善一

旅行好きの作者は旅の匂を数多く作られている。今回は硫黄泉の温泉地のようだ。旅の疲れを癒すべく温泉に身を浸す。冬がもうそこまで来ている夜に幽かな虫が鳴いている。

硫黄香の湯に浸す身やすがれ虫

紅杓

はや日暮れはや泣き初むるすがれ虫 まもる
秋も更けてくると虫が短くなことに気づかされる。
残る虫は細々と鳴いている。暮れるのが早くなると虫の鳴くのも少しばかり早くなつたようだ。何かにせき立てられ
るよとに作者の心中に寂しさが生じてきた。

今年は正岡子規が逝つて（明治35年9月19日・享年34歳）115年になります。

子規に関する伝記や研究物が多いのは、俳諧から俳句を独立させた俳句文学の実績によるものと考えられています。私は今、俳句見直しの原動力だった「写生」に関心をもっています。

写生について子規の書いた定義などは見当たりませんが、散文についての写生論と思われるものがあります。

「一ある時不折の話に、一つの草や二つ三つの花などを書いて絵にするには实物より大きい位に画かなくては引き立たぬ、という事を聞いて嬉しくてたまらなかつた。俳句を作る者は殊に味うべき教である。」

中村不折は当時の西洋画家で子規と深交があつたようです。子規は、画家は写生を大切にし絵筆を使って画くが、俳句は選んだ言葉で写生をするものだと考えていました。俳句も見たまま、感じたままを実どおりに写生するのですが、言葉の遊びから脱け出す工夫がほしいのです。いかに詩情を感じ、余韻を残す言葉を選ぶかが真の写生の意味だと思います。

コラム

腰折れ文

渡邊澄子（会員）

が遅れた。十四日の金沢の室生犀星記念館での講演準備と家政大学での連続講座の準備に追われていたためだが、前日の中泊は、横山源之助研究者の教え子と、拙著『青鞆の女・尾竹紅吉伝』の読者という研究者に誘われてだった。富山は壳薬の地だった。明治末から大正にかけて横山大観と並置された日本画家尾竹三兄弟の活躍開始の地でもあった。長兄尾竹越堂は紅吉（本名一枝）の父。その弟の竹坡は横山大観と並置された画家で、以前の日黒の雅叙園にはくるが、紅吉なしに現在の位置づけはありえなかつたのが歴史的真実なのだ。その後結婚したまだ無名の富本憲吉が世界の陶

芸家になったのも、鷗外文学における女性像も、中村汀女が俳壇の重鎮になったのも一枝の力による。他にも多くの女性を輝かせた希有の魅力に溢れた「感知力」（藤村）抜群の女性で、私は虜になっている。この本を読んでくれた人との出会いは嬉しかったが、紅吉について『とやま文学』への寄稿を頼まれてしまつた。犀星記念館では代表作『杏つ子』とそれと表裏をなす娘の朝子の『赤とんぼ記』を中心にして好評を得たが、名誉館長を務める「有名作家のお祖父さま」を誇りとする孫の室生洲々子さんが聴いているので、戦時下の激烈な戦争協力文学や晩年の秘密の女性関係などには触れられず、悔いが残つた。

(漱石論) のレジュメ作り。その前にコラムをとパソコンに向かってところに、かなり以前の教え子が何人もでやってきて、大事な一日がつぶれてしまった。

旅から帰って四日間の新聞をひろげたら、選挙の記事であふれ、それも自民党が優勢の記事ばかり。なぜ?なぜ?九条を排除し、自衛隊を軍隊として明記するというんじゃない公约を堂々と叫んでいるのに支持なんて。森友・加計問題、原発(内部被曝も)問題、沖縄問題等々、眞に国民にとって喫緊の課題には触れようともしないのに。安倍首相の選挙区には昭恵夫人がマイクを握って運動しているという。何と言う厚顔さだらうか。今日(10月18日)の『東京新聞』の「こちら特報部」欄の「現代と似通う昭和3年」

◆原稿・写真など大募集◆

会員の皆様から、原稿・写真などを幅広く募集いたします。

- 「旅行記」「体験記」「書評」「詩」「小説」など
- 多様な原稿を募集いたします。
- 編集部体制で「善隣」誌の編集に当たります

表紙および裏表紙の写真や絵画などを募集します。写真についての短いコメントも付けてください。思い出の写真、珍しい写真、力作の写真、なんでもお待ちしています。

会員の皆様にできるだけ参加していただけるよう試みてまいります。原稿の長さ、書き方、原稿送付方法等、お気軽にご相談ください。事務局にお伝えいただければ、追って編集部からご連絡をさせていただきます。

に。安倍首相の選挙区には昭恵夫人がマイクを握って運動しているという。何と言う厚顔さだらうか。今日（10月18日）の欄の『東京新聞』の「こちら特報部」

は現在の政治状況を端的にかつ明確にまとめている。斎藤美奈子のコラムもいい。この拙文発表時には日本の行く手が決まっている。恐怖の道でないことを祈りたい。

常任委員会報告

◆環境委員会 活動要旨

10月2日(月) 14:00 ~ 16:15、
8名出席。

藤木委員の福島原発事故関連

解説では、規制委員会委員長交代、炉心の冠水工法放棄などを報告。澤村委員による平成29年版 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書(概要)の解説。環境委員会企画の見学会を討議。

(委員長 牛木久雄)

◆国際交流委員会 活動要旨

10月度例会で、さくらサイエンスプランの報告があり、11/26~12/2に来日する「中国医科大学」の訪問先と訪日団員はすでに確定し詳細な日程つくりの作業に入ること。初回招請した山東理工大学の幹部4名のフィードバック訪日(JST・協会訪問)が報告された。更に、中国西安市の高校生訪日団の通訳の体験談が語られた。最後に、今回の例会の目玉として、拓大の岡田先生が8月に中国東北部

にかつての日本の開拓団が生活していた方正県訪問報告をプロジェクターで行った。特に、岩手県出身の藤原長作さんが稻作指導で、現地の人達に大変感謝されている話は、感銘深かった。

(委員長 姜晋如)

◆講演委員会 活動要旨

東京のど真ん中、新橋で講演会を開くだけで良いのか、と反省する意見がある。協会がテーマを選定し、一流講師が高レベルで分かり易く講演をする。これが月3回で連続する。足を運んでくれる聴講者は会員・外部で50名。

近隣都市である横浜・千葉・大宮にも中国アジア関係団体、大学があつて、同様な講演を享受できる機会があるのだろうか。難しいのではないか。協会の社員が貢献として、近隣の中国団体と協力し、まず一回だけでも近郊サテライト会場での会を試みはどうか。一つ飛躍して「大阪で」という意見もある。

(委員長 村瀬廣)

◆広報委員会 活動要旨

10月6日 14:00 ~ 16:00、大日方教授による近現代史講座「日中戦争と戦時体制の始まり」を実施した。いつものように、冒頭先生の方から前回の質問に対する回答が丁寧に行われた。南京事件の伝えられ方や、エスカレートしていく戦時締め付け体制の中、人的資源を確保するために「厚生省」が成立したという点が印象的であった。

(委員長 戎亥芳秀)

◆財政委員会 活動要旨

10月11日(水) 14:00 ~ 15:30、6人の委員、監事1人で開催。

今月は「中間決算」の審議を中心、「資金繰り」「家賃更改及び経費節約の今期収支に及ぼす効果」についても議論を進めた。

10月5日 17:00。「善隣」誌へのさまざまな感想がありました。できるだけ皆様のご要望にお応えできるよう、制作でなければと思います。今後も、広報委員会の機能を充実させる議論を進めていければと思います。

(委員長 原田克子)

◆東北委員会 活動要旨

10月6日 14:00 ~ 16:00、大日方教授による近現代史講座「日中戦争と戦時体制の始まり」を実施した。いつものように、冒頭先生の方から前回の質問に対する回答が丁寧に行われた。南京事件の伝えられ方や、エスカレートしていく戦時締め付け体制の中、人的資源を確保するために「厚生省」が成立したと結果を重ねた解説とそれを受けたの参加者から発言・質問が出され、座長の見解が示された。後半はビールで喉を潤しながら、質問の範囲はさらに広がり、座長の快刀乱麻に会は大いに沸いた。

第2回は11月24日(金)。対象:『習近平の夢』序章と第一章。報告者:岡部滋氏。

(担当:日野正子)

「善隣中国塾」はじまる

第1回が10月27日(金)

に開かれた。参加者28名。

「習近平2期体制の人事構想を分析する」と題して、矢吹晋座長によるホットな報告があった。第19回党大会(18~24日)中、19日のアジア研究懇話会講演「北京ぶらり旅21日」での選出予想と結果を重ねた解説とそれを受けたの参加者から発言・質問が出され、座長の見解が示された。後半はビールで喉を潤しながら、質問の範囲はさらに広がり、座長の快刀乱麻に会は大いに沸いた。

更に、修繕工事計画の作成、及び事務職員の身分、待遇改善なども抜本的に検討することとした。できるだけ皆様のご要望にお応えできるよう、制作でなければと思います。今後も、広報委員会の機能を充実させる議論を進めていければと思います。

(副委員長 岡部 滋)

中日会通

◆理事会報告「平成29年7月九州 北部豪雨」義捐金のご報告

募金期間は8月～9月末の2か月間で、合計27名の方から17万5330円のご寄付が集まりました。9月度の理事会で、これに協会として22万4670円を追加して全体として40万円を寄付することを決めました。甚大な被害を受けた大分県日田市と、福岡県朝倉市に各20万円を贈ることとし、たまたま満洲関係者の集まりで日田市を訪れていた矢野一彌会長と岡部滋常務理事が9月26日に日田市役所に出向き、大塚勇二副市長に直接お渡しました（写真は表2上）。また、朝倉市については、10月3日現金書留でお見舞い状とともに森田俊介市長宛てに20万円をお送りしました。両市役所には、当協会の紹介資料や「善隣」8月号（10月号、「70年のあゆみ」「記録・引揚70周年記念の集い」なども贈らせてもらいました。

◆山東理工大学幹部が当協会を表敬訪問

9月26日、山東理工大学の幹部4名

が来会されました。2年前に「第1回さくらサイエンスプラン」で12名が来日した時に、当協会が筑波大学等にご案内をして以来、縁ができた関係です。

今回のミーティングでは、今後とも民間交流の面で友好を深めていくことになりました。表2下の写真は、

左から劉元義（農業工程与食品科学院長）、通訳者：劉倩鄉（外国语学院教師）、呂傳毅（党委員会書記）、李新紅（国際交流処理長、国際教育学院長）。

（藤沼事務局長）

会員だより

◎新会員

〈正会員〉 齊藤勉氏

同好会だより

〈一石会〉
10月 囲碁例会優勝 三好正晴氏

〈謡曲会〉
12月12日例会 実施予定曲目

野宮	歌占	曲目	役割	地頭
シテ神保	シテ土屋	吉野天人	シテ澤村	野宮
ワキ鶴川	ワキツレ村瀬	ワキ土屋	シテ	シテ

みんなの写真館

メキシコシティ（表紙）

飛行機が高度を下げる、窓の中は民家の屋根しかなくなっていました。太平洋を隔てて日本の対岸、メキシコの首都・メキシコシティである。メキシコの人口は日本とほぼ同じだが、国土面積は5倍ある。ところが首都市には2000万人以上が密集している。だからどこもいつも混んでいる。「どうしてこんなに集まるの？」と聞いてみると、「メキシコ人は人が集まるところに集まる」というのが答えた。（田畠光永）

みたが、「メキシコ人は人が集まるところに集まる」というのが答えた。（田畠光永）

善隣協会中国旅行団（表4上）

7月下旬、団員13人で中國内陸部・甘粛省康樂県の植林地を訪問し樹木の生育状況を見学し、県林業局職員と交流し、熱烈歓迎を受けた。省都・蘭州から南へ130km臨夏回族自治州の農業地帯。写真の記念碑の表面・康樂県中日友好生態緑化「モデル植林地」記念碑。裏面の碑文・康樂県人民政府

は日本国際善隣協会と連携し日中緑化交流基金から助成を受け植林を実施。生態モデル植林地の建設は康樂県の水と土の保持能力向上させ康樂県の自然環境を改善しました。中日連携で植林地を作る合

作項目の模範として将来の事業に役立つ。(写真の人物)善隣旅行団員13名と左端は甘粛省林業局課長、右端は康樂県林業局局長。

（村田嘉明）

沈む太陽（表4下2枚）

樟太へ向かう私達は、8月22日に成田を16時50分に離陸しました。私の席は、進行方向（北）に向かって左側（西）の窓側の席。丁度、夕日が雲海に沈んでいく時刻となっていました。あの音楽と共に耳の奥に湧いてきた「ジェットストリーム！」の世界が今、目の前で展開され、合わせて30枚以上のシャッターを切りました。その中から、飛び立つ間もなく夕日に沈む時間帯の2枚を掲載させて頂きました。（藤沼弘一）

2017年12月の行事予定

1日（金） 14：00 近現代史講座

6日（水） 13：00 俳句会

投句の場合は兼題「兎、銀」及び当季雑詠

7日（木） 14：00 ○公開フォーラム

「中国の台頭するニューエコノミー」

金堅敏氏（㈱富士通総研主席研究員）

12日（火） 14：00 謡曲会例会

14日（木） 18：30 ○公開アジア研究懇話会

「岩倉使節団の米欧派遣と第3の開国に直面する日本」

井出亜夫氏（JCMS㈱アジア交流塾塾長、米欧亜回覧の会
シニア・アドバイザー）

19日（火） 14：00 謡曲会（松木先生稽古日）

22日（金） 16：00 ○公開「善隣中国塾」

※参加希望の方は事前に事務局まで申し込みください。

26日（火） 14：00 謡曲会（松木先生稽古日）

※12月29日～1月4日まで、事務局はお休みします。

12月の会議予定

1日（金） 14：00 東北委員会

4日（月） 14：00 環境委員会

7日（木） 15：30 講演委員会

〃 15：30 広報委員会

12日（火） 14：00 国際交流委員会

13日（水） 14：00 財政委員会

21日（木） 14：00 理事会（第13回）

※会員外一般聴講者の参加費は、○印：1000円、□印：500円、無印：無料です。

※下線は通常日程に変更あり

みんなの 写真館



「善隣」第四八六号（通巻七五三）

発行所

〒105-0004
一般社団法人 国際善隣協会
電話 03-3533-0511
東京都港区新橋一丁目五番
代表会

